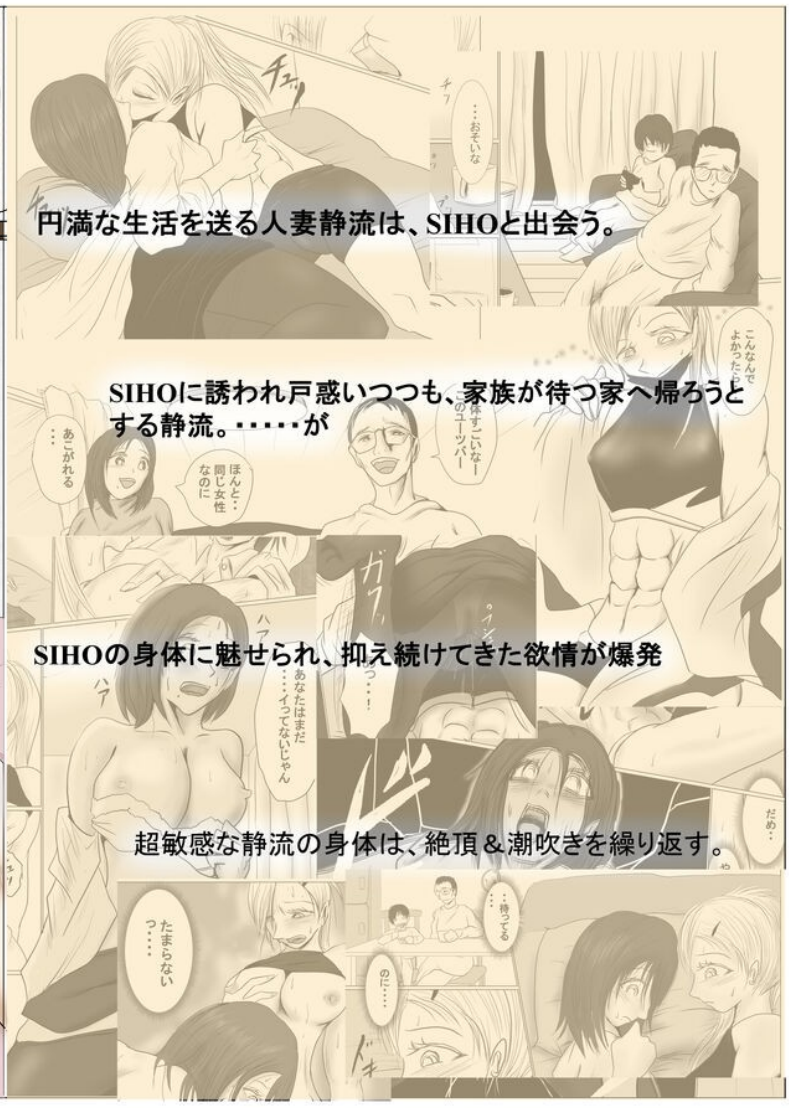

マジメ系人妻と
筋肉フタナリ美女
（前編）
Siho（24）
・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ
・寂しがりや
静流（31）
・ﾏｼﾞﾒに働く人妻
・実は欲求不満
R18
ADULTONLY
作：RIKU78


円満な生活を送る人妻静流は、SIHOと出会う。
SIHOに誘われ戸惑いつつも、家族が待つ家へ帰ろうとする静流。・・・・・が
SIHOの身体に魅せられ、抑え続けてきた欲情が爆発
超敏感な静流の身体は、絶頂＆潮吹きを繰り返す。

私たちは
幸せ家族

夫　義人（34）

日曜は　必ず
三人でおでかけ

息子　ケン（6）

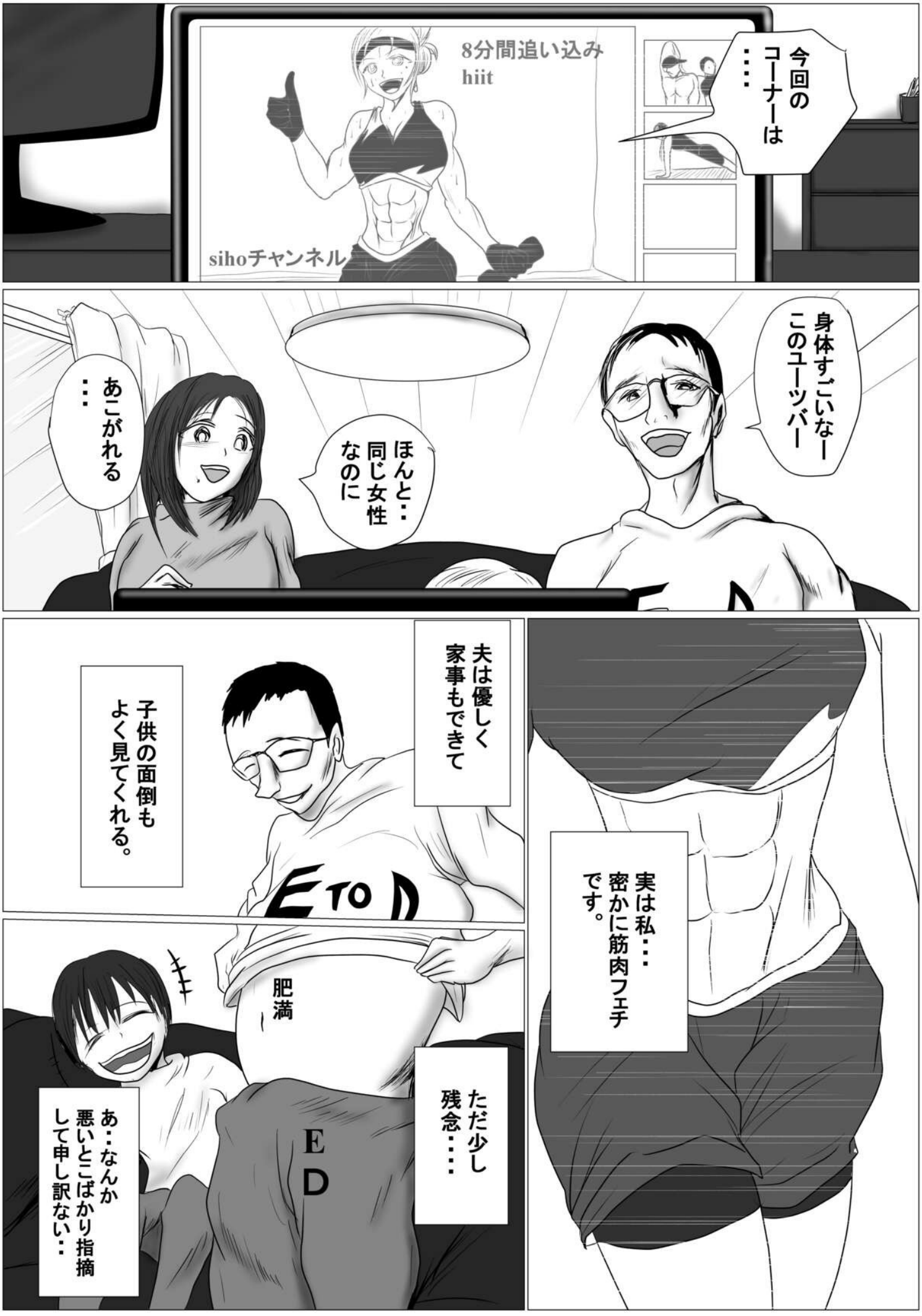
私　妻　静流（31）

お金かからない
公園ばかりだけど

子供は
喜んでくれる。

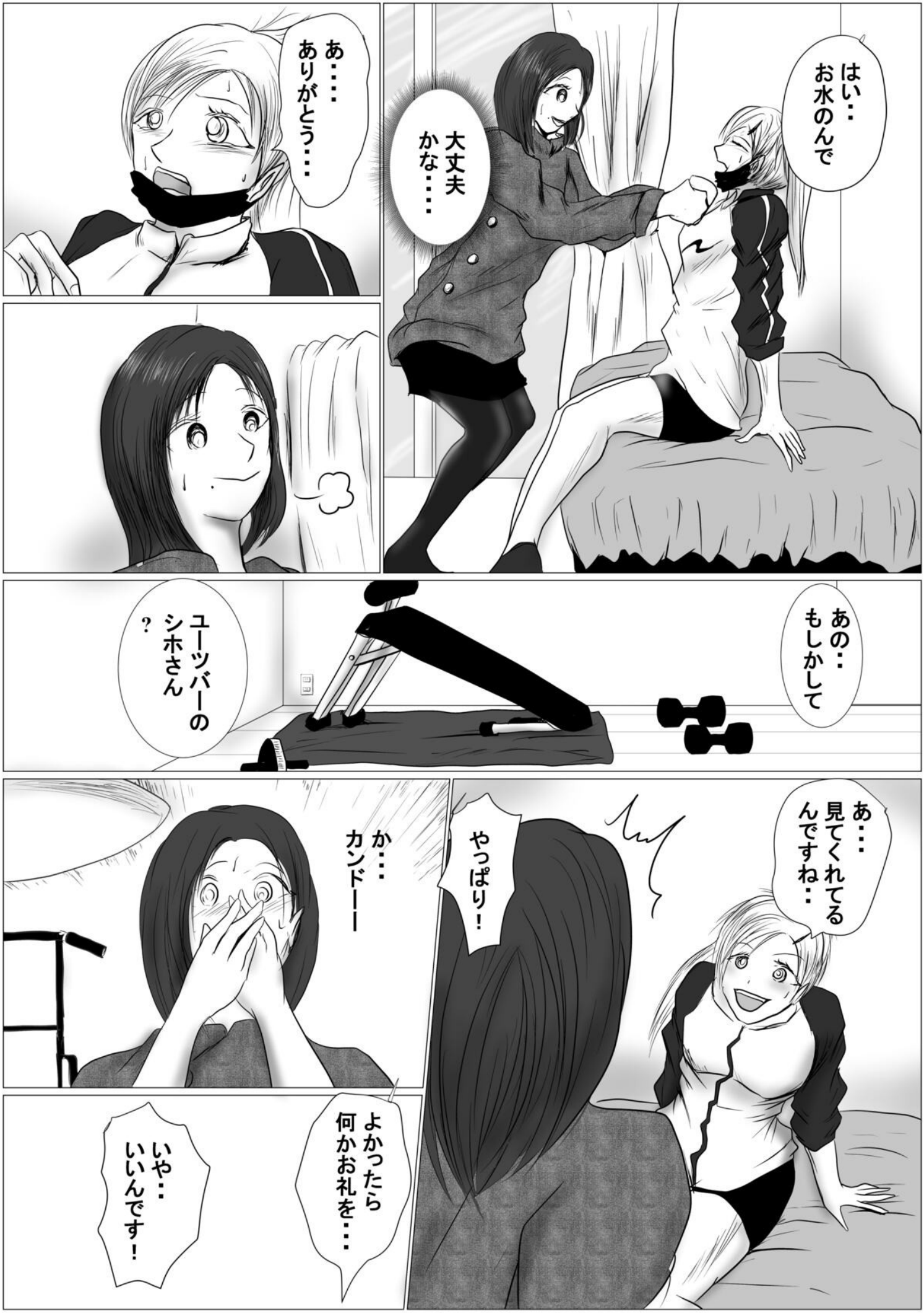
素敵な
毎日だ。

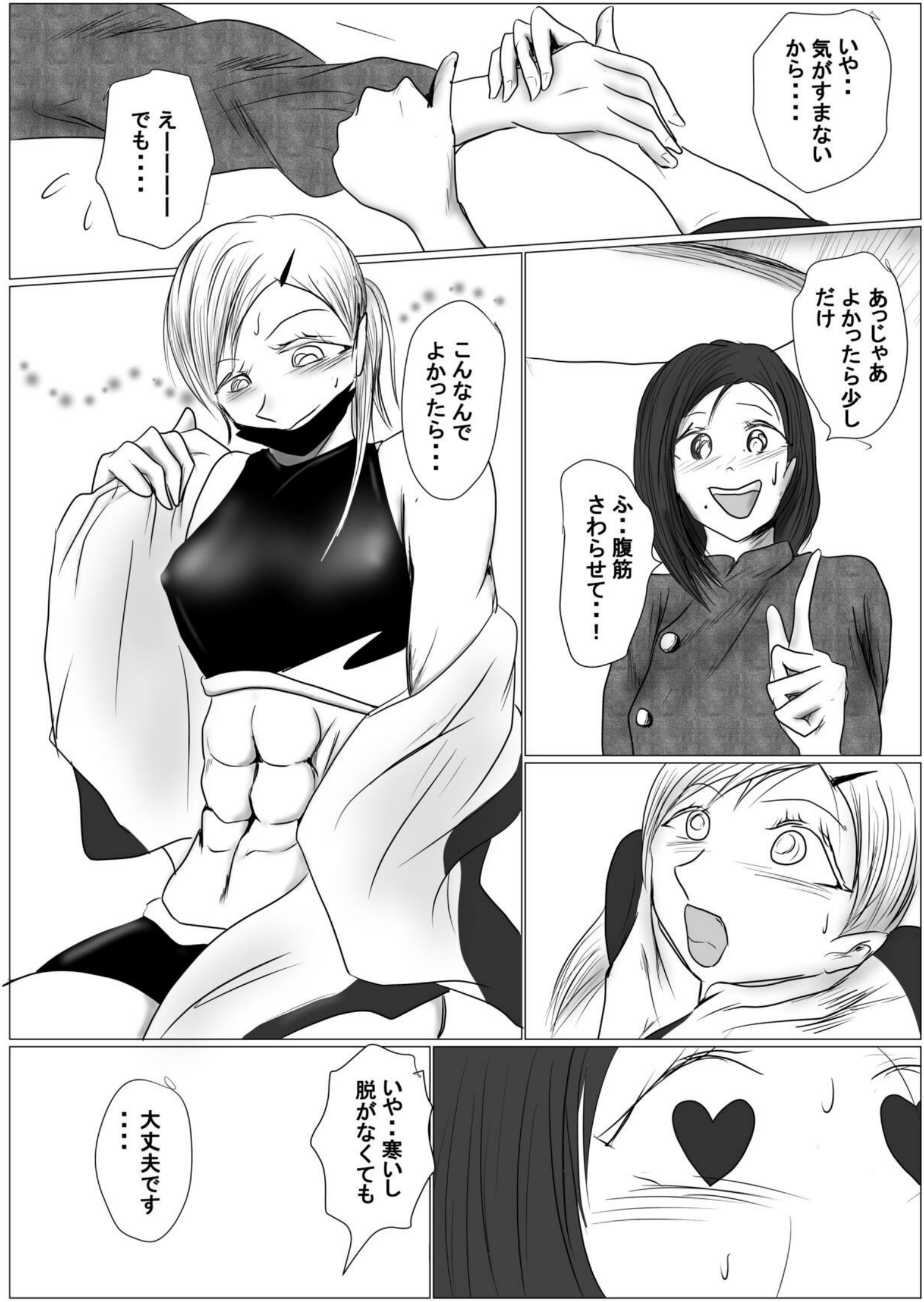

しいて言うなら
ひとつだけ不満が
あります。
夫は34歳にして
ED
つまりは
夜の営み
がない
あ・別に
欲求不満とかじゃ
ないけど
夫婦の
つながりを
感じたいだけ
そう・・・
それだけ・・・
キュッ・・・
E to D


今回のコーナーは・・・
8分間追い込み
hiit
sihoチャンネル
身体すごいなーこのユーツバー
ほんと・・同じ女性なのに
あこがれる・・・
実は私・・・密かに筋肉フェチです。
ただ少し残念・・・
夫は優しく家事もできて
子供の面倒もよく見てくれる。
肥満
あ・・なんか悪いとこばかり指摘して申し訳ない・・


…そんな
ある日
す…
すみません！
！
よ…よかったら
……
肩を…
かしてくれませんか？
……
！
すごい
熱……
だ…
大丈夫ですか
？……
ちょっと
足くじいて
…
ちょっと…
病院行きましょう
い…いえ
自宅で大丈夫
です……

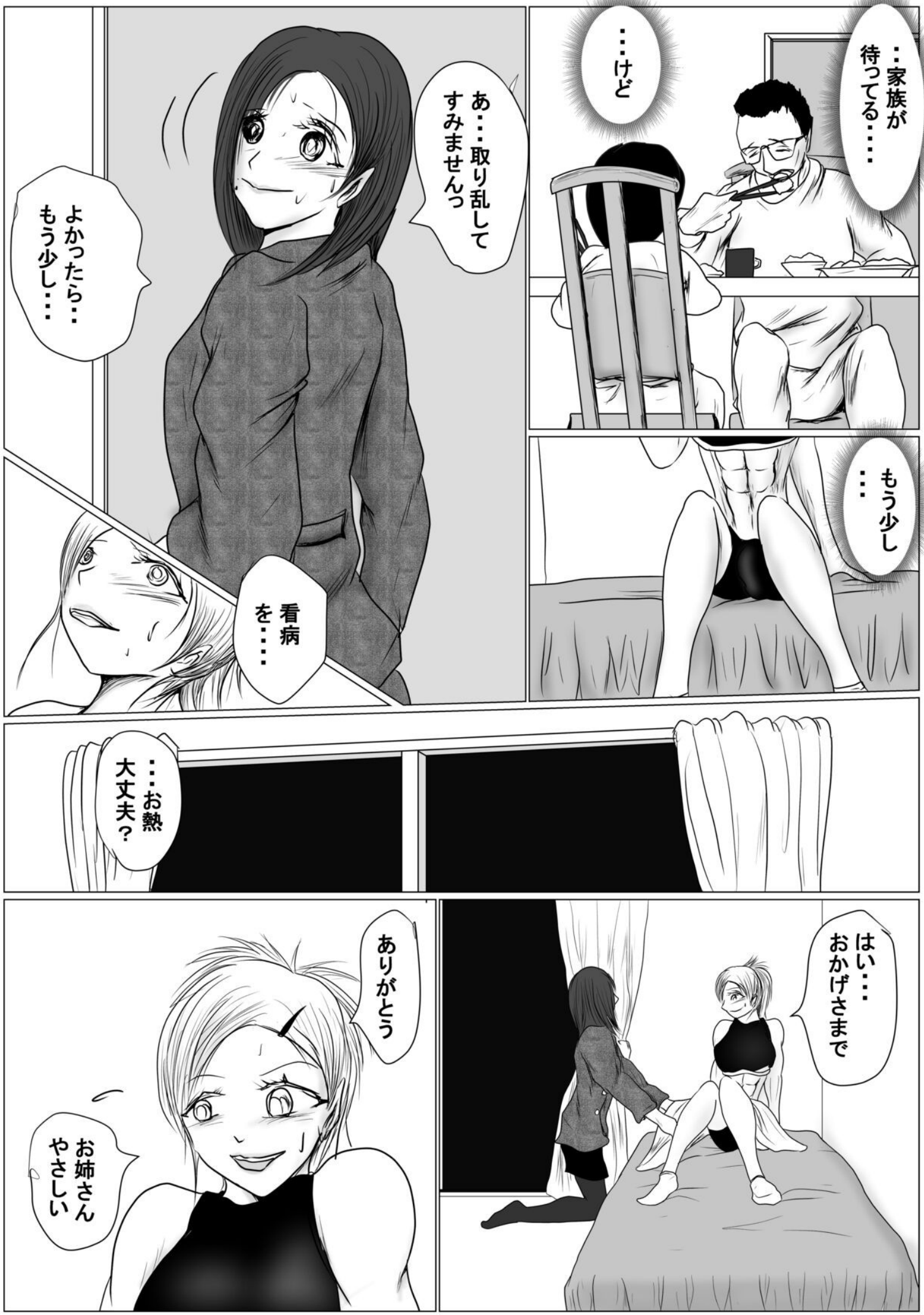

とっさに
知らない人を
家まで送る事に
・・・・
うん・・・
ごめんね
夜ごはんは
適当に・・・
ユーツバーの
・・・？
あーいいよ
気にしないで
はい・
ごめん
・・
この人
はあ
はあ


はい・
お水のんで
大丈夫
かな・・・
あ・・・
ありがとう・・・
あの・
もしかして
ユーツバーの
シホさん
？
あ・・・
見てくれてる
んですね・・
やっぱり！
か・・・
カンドーー
よかったら
何かお礼を・・・
いや・
いいんです！


いや・・
気がすまない
から・・・・
え――――
でも・・・・
あっじゃあ
よかったら少し
だけ
ふ・・腹筋
さわらせて・・・！
こんなんで
よかったら・・・
いや・・寒いし
脱がなくても
大丈夫です
・・・


わあっ！
すごい！
本物！
しばし人妻を忘れる
ヤバイ！
カッコい・・！
！！
お・・おちん・・・！
ピッ
え・・・！


あ…私は女性ですよ…
ちょっと「特殊」入ってますけど…
さ…続けて
ガッ
えっ！
あっ！
ちょっ…
あっ
や…やっぱり帰るね！
…何やってんだ私…
グッ
……！


家族が待ってる…
けど…
もう少し…
あ…取り乱してすみませんっ
よかったら…もう少し…
看病を…
お熱大丈夫？…
はい…おかげさまで
ありがとう
お姉さんやさしい


そんなこと
…しかも
お姉さんとかじゃ
…
ゴクリ
…私こう見えても
寂しがりやなんだ。
！
両親は早くに
死んじゃったから
…
……！
そうなんだ…
動画じゃ想像も
つかなかった。
あれはただ寂しさを
紛らわしているだけ
だよ。
だから…
こうしてるとなんか…
ときめいちゃうと
いうか……
ドキ
ドキ
ドキ
私は彼女に
もともと憧れ
ていた。
ドキ
ドキ
そして彼女は
介抱する私に好意を
抱いてくれる。
つまり…
互いにひかれあった。

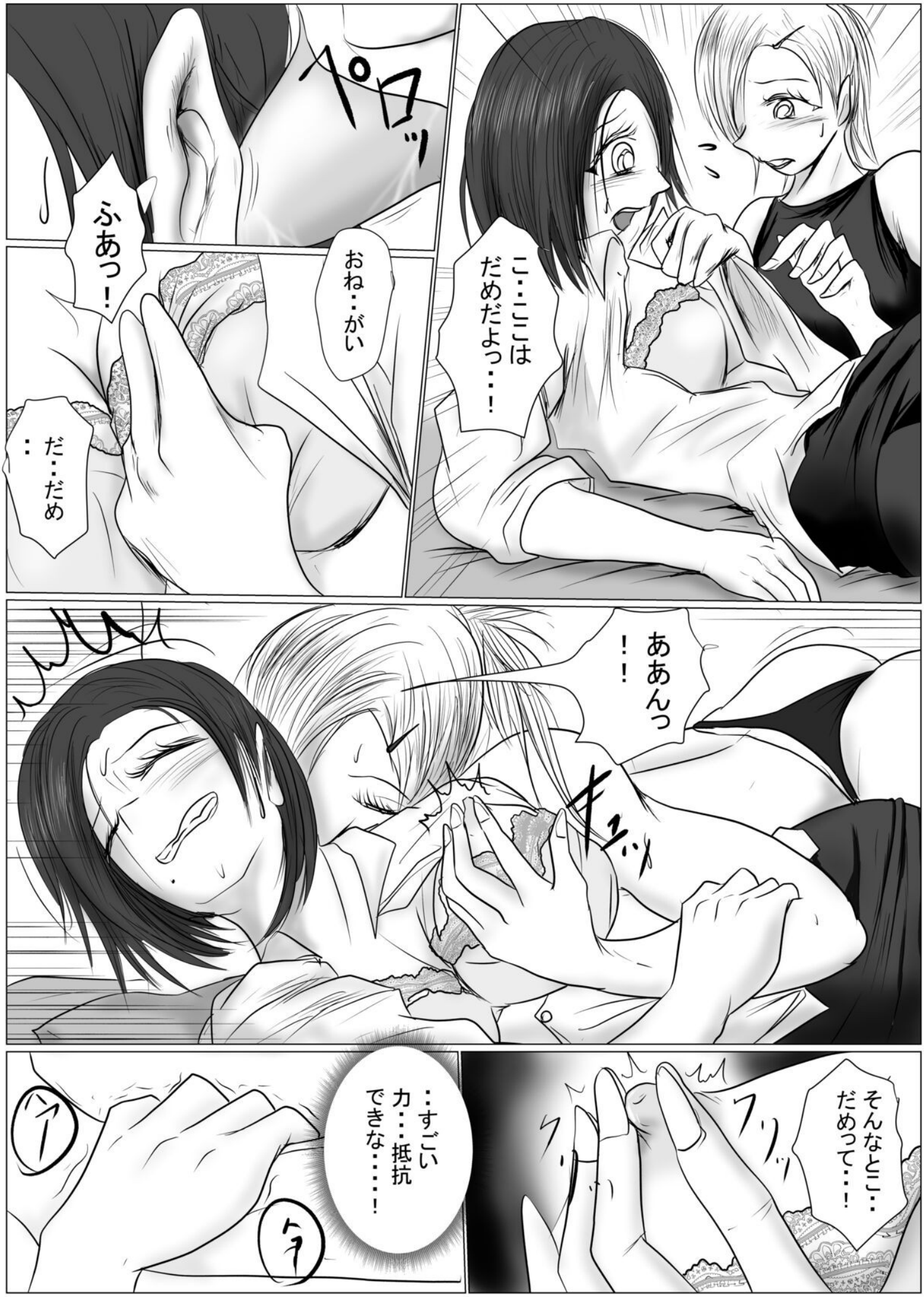

ねえ…
…!
ビクッ
少し…
添い寝…
ドキ
して…
ドキ
ドキ
私…
…何してるんだろ…


…待ってる…
のに……
ドキッ
ドキッ
……チューして
ボソ
ちょっ……
えっ……


：今まで
がんばってきた。
家族のために
：：
だから：
チュプッ
少しくらいは
：：
イイよね
：：：


チュッ
チュッ
キス自体…
こんなに…
キスって…
ドクン…
5年ぶりくらい…
気持ちよかったんだ…


シュル・・・
ハア
ハア
ハー
ス・・・
ハッ
ハア
やっ！

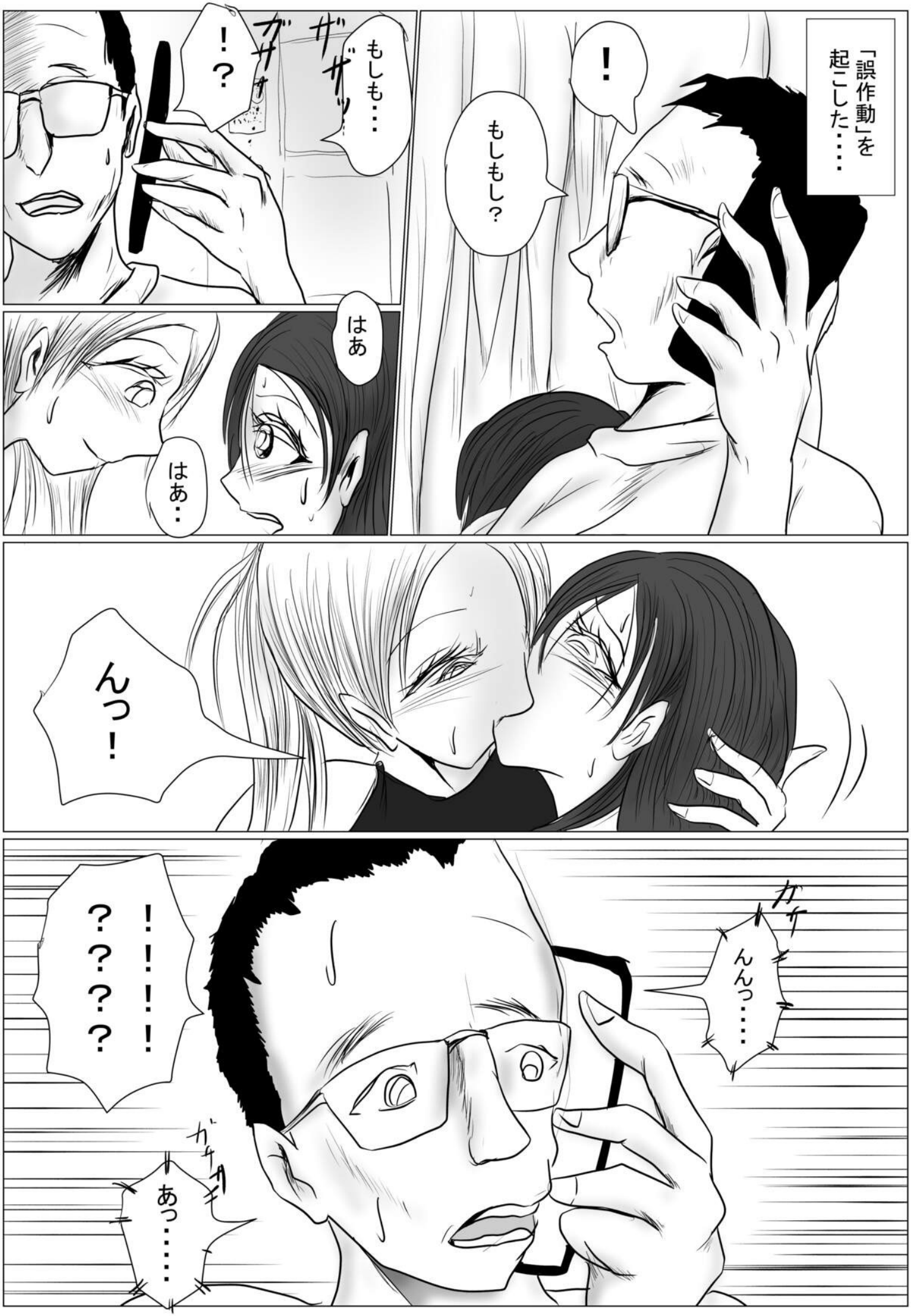

こ・・ここはだめだよっ・・・！
おね・がい
ふあっ！
だ・だめ・・
ペロッ
ああんっ！！
そんなとこ・・だめって・・・！
フリッ
フリッ
・・すごい力・・・抵抗できな・・・・！
ハァ
ハァ


というか…
力が入らない
…
いけないことを
してるのに…
興奮してる
夫に…
子供に…
申し訳ない…
仕事
家事
育児
夫との関係
順調すぎる生活は
欲望を閉じ込めていた
ステルスな
ストレス
それを開放？
しようとしてくれる
シホさん
その舌が
私を未体験の
領域に導いてくれた。

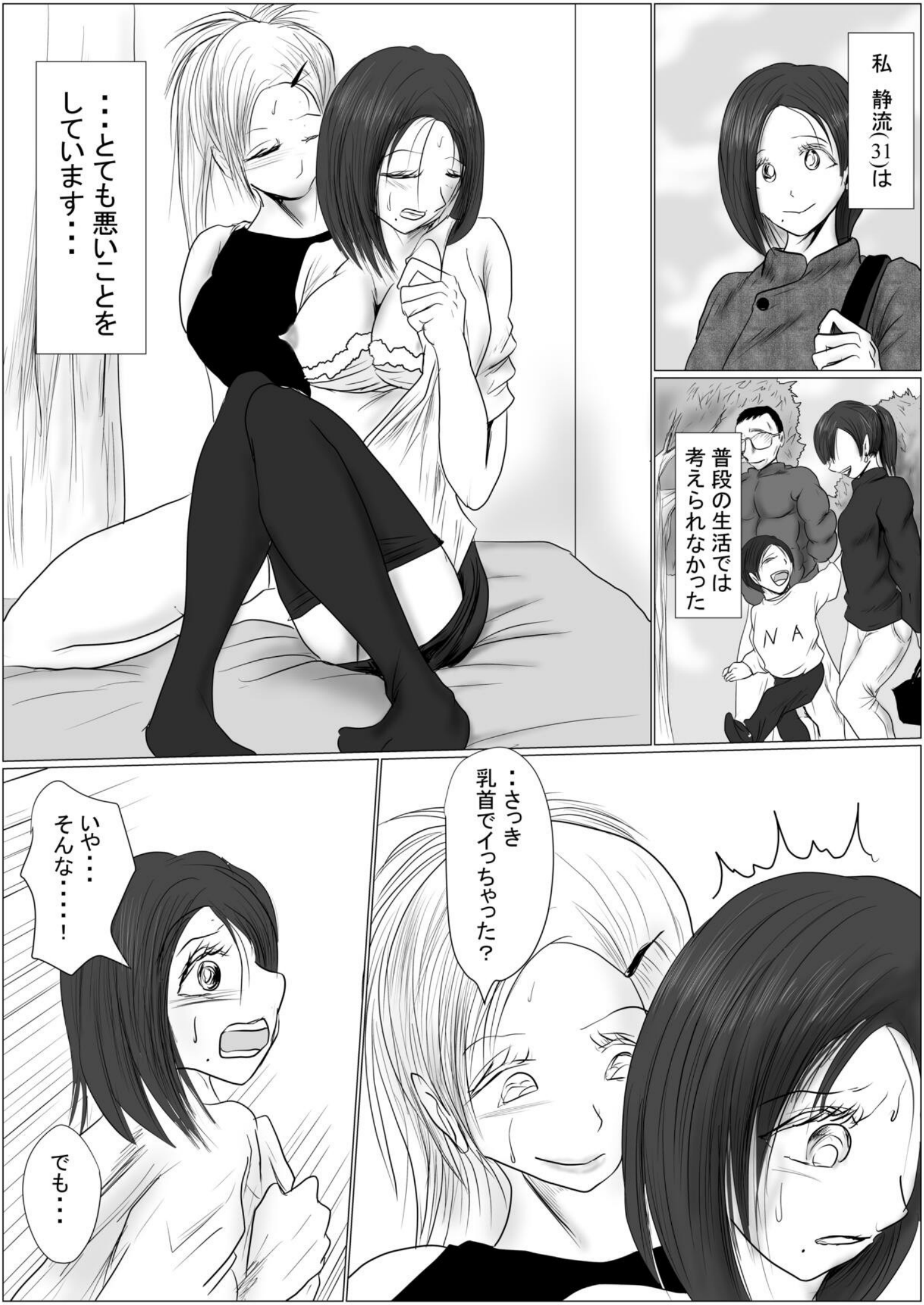

いやっ！
ヒクッ
やめ・・
すわないで
・・・・
ああ・
なんかやばい
なんか
ヤバい
ちゅうううう
あ・・・ちょっと
舌が・・・
やばい・・
気持・・・・・
レロッ
ごめん
・・・・
ヤバイ
パパ
・・・・
ブル
ブル
ブル


ごめん…
パパ…
イっちゃ……う…
ドド
ガクッ
ビクッビクッ
あっ…！
タッ
タタッ
あんっ！


チッ
チッ
12
3
6
9
…おそいな
プッ
プッ
プッ
しずるママ♡
ヴ〜
ヴ〜
pa pa
ヴ〜
……不意に飛んだしぶきが……
はあ
はあ
ヴ〜
ヴ〜

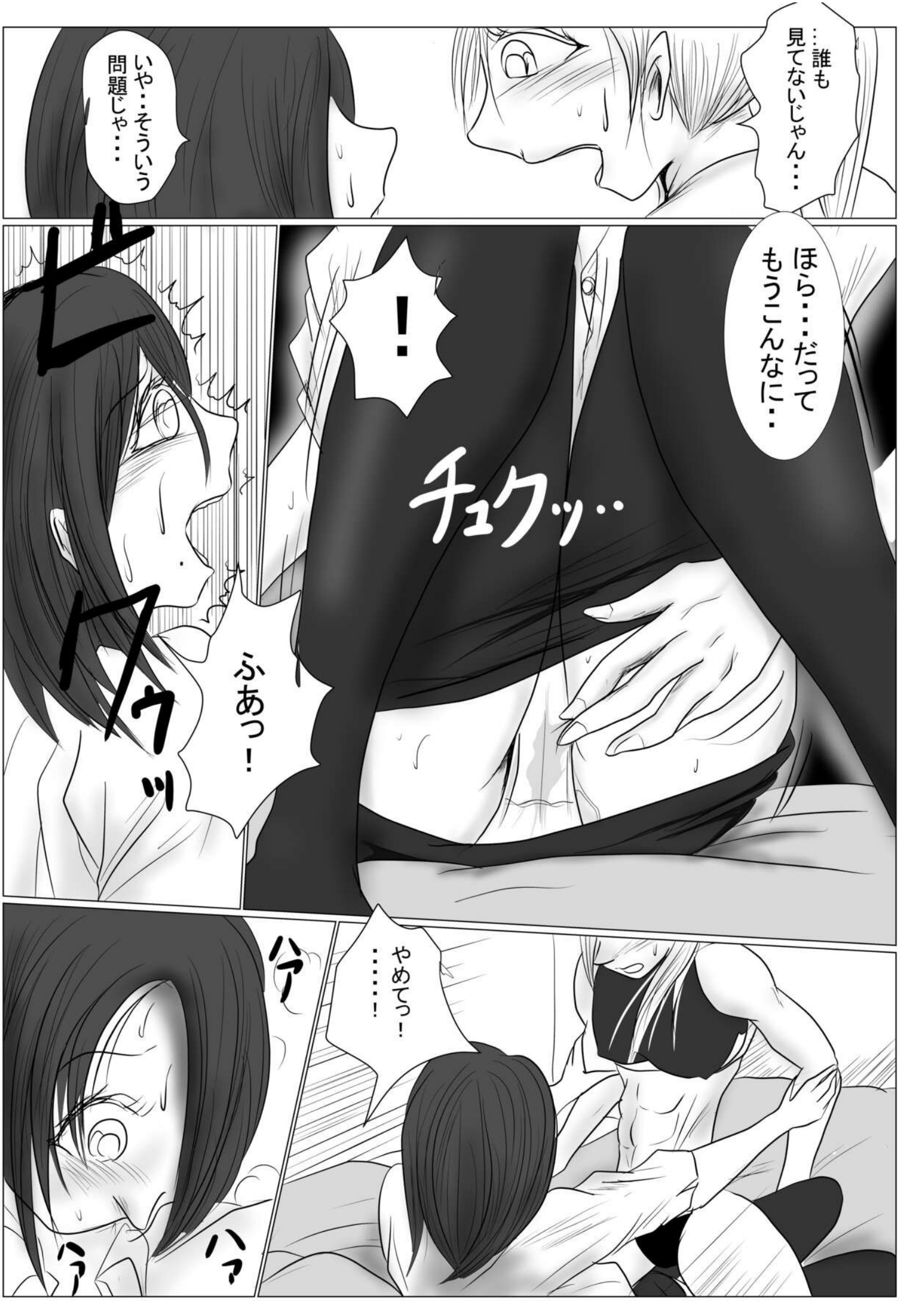

「誤作動」を起こした……
！
もしもし？
もしも…
ガサッ
ガサッ
！？
はあ
はあ…
んっ！
ガチャ
んんっ……
！！！！
？？？？
ガチャガチャ
あっ……

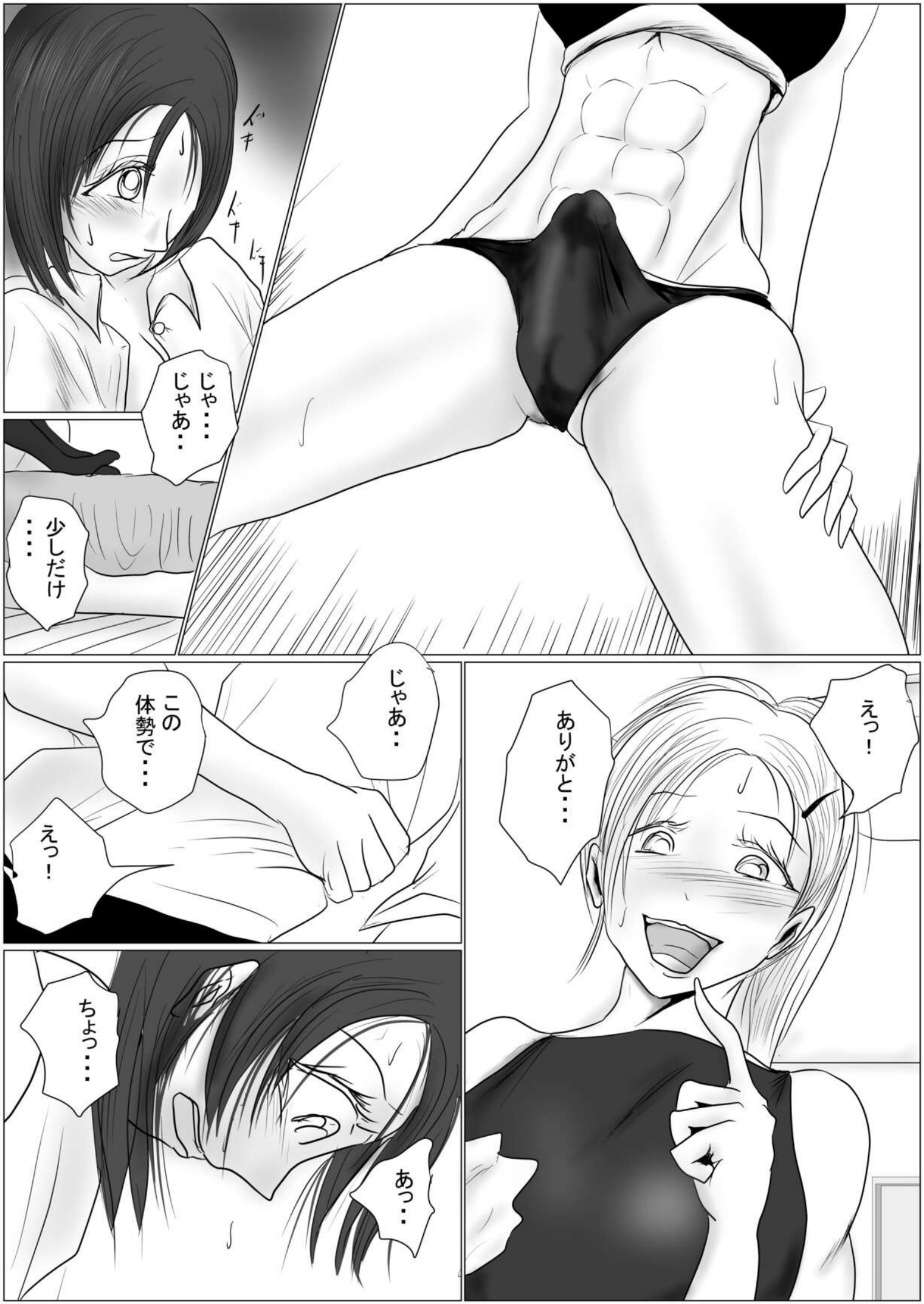

んんっ…
…
クチュッ
チュパッ
あん…
もしもし？！
静流？！
？
……！


私　静流(31)は
普段の生活では
考えられなかった
・・とても悪いことを
していています・・・
・・さっき
乳首でイっちゃった？
いや・・・
そんな・・・・！
でも・・・


……！
カアアア
さっきたくさんでたじゃん・・・・
ポタ
ポタ
・・・ねえお姉さん
よかったら私も・・


気持ちよくして……
ギチ……
グチ
グチ
グチ
こんな大きいの……
初めて…
で…でもさすがに…主人に…
悪いよ……
……。
悪……
ムス……


…誰も見てないじゃん…
いや・そういう問題じゃ…
ほら…だってもうこんなに・・
！
チュクッ‥
ふあっ！
やめてっ！……！
ハァ
ハァ
ハァ

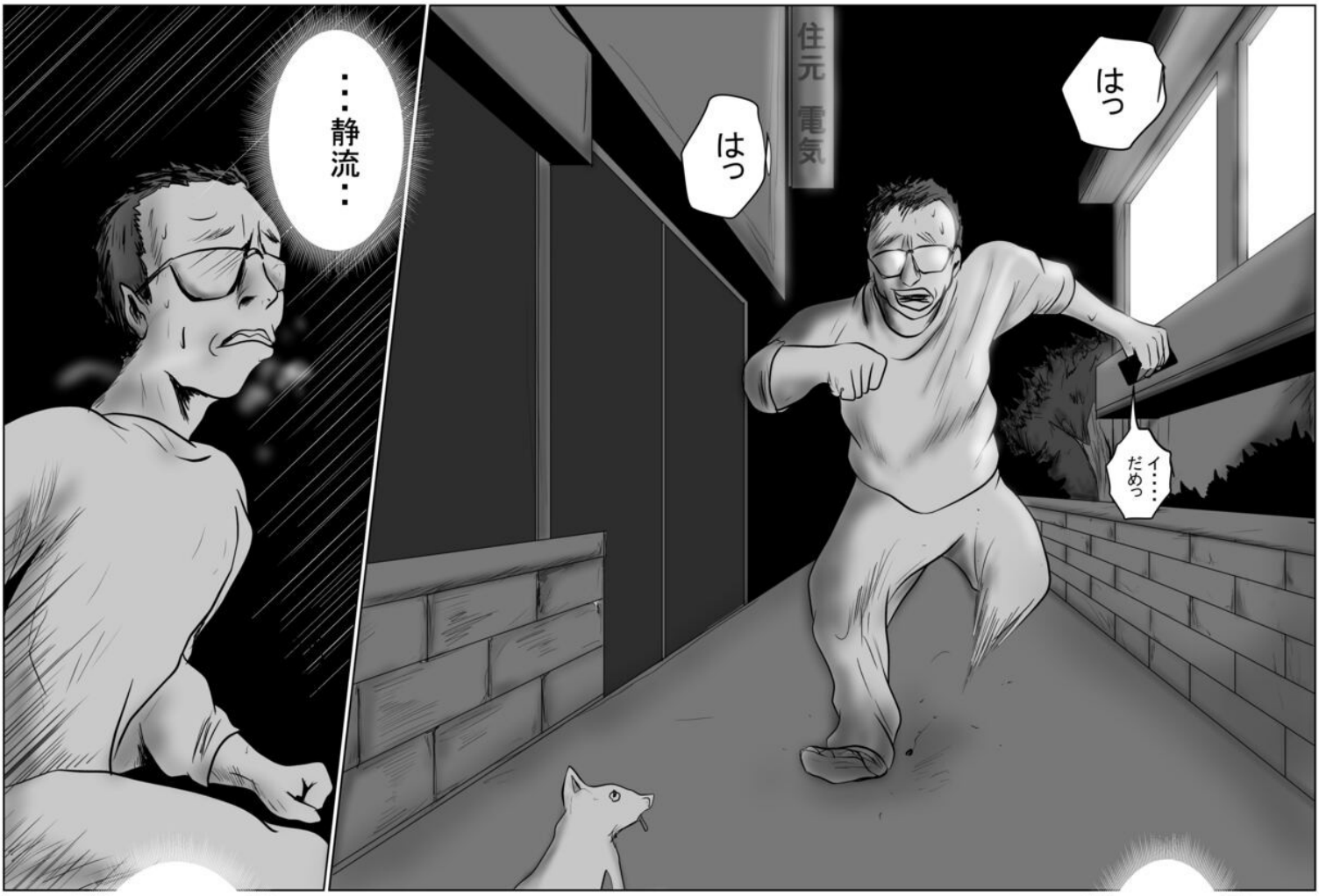

イヤ
イヤ
イヤ
じゃ・・・
じゃあ・
少しだけ
・・・
じゃあ・
この
体勢で・・・
えっ！
ちょっ・・・
あっ・・
えっ！
ありがと・・・


へ…
変なこと
しないでね…
…うん…
ハア
わかってる
……
ハア
ハア
は…
ハズい
……
ハア
ハア
ハア


んんっ！
チロッ
ビクッ
…すごい反応……
ハア
ハア
ハア
しかも…主人とサイズがまるで違……
こんなん…
初めて……


ハア
ハア
ハア
ああっ…
チュッ
グッ
グッ
いやっ！
何っ！？…


へ…
変なこと
だめって…
言った
じゃ…
ああっ！
グ
チュッ
いや…
あ……！


はっ
住元 電気
はっ
イ…だめっ
…静流…

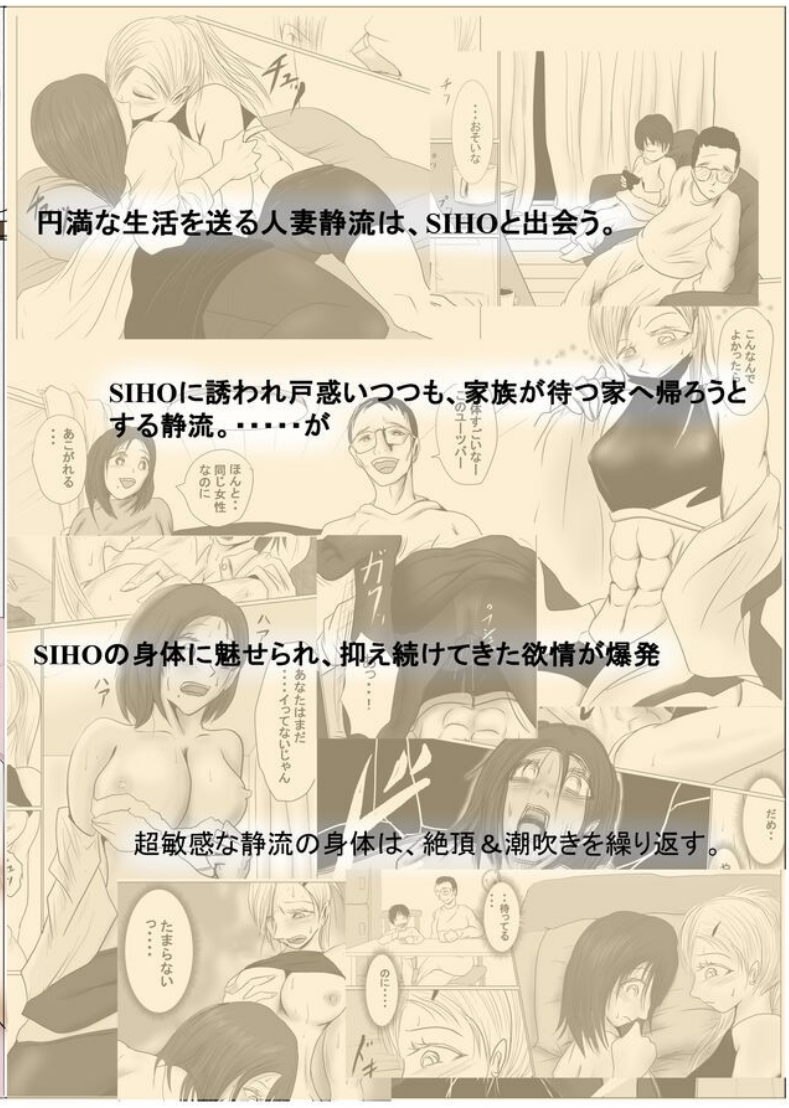

君にはわるいが…
君のスマホにGPS仕掛けてたんだ…


心配性な僕だから…
ちょっとお出かけしてくる。
静流…お前電話の向こうで…
他の男と…
変な事してるな…！
ウァアアア



To Be continued


マジメ系人妻と
筋肉フタナリ美女
中編
Siho(24)
・インストラクター
・寂しがりや
静流(31)
・マジメに働く人妻
・実は欲求不満
R18
ADULTONLY
作:RIKU78

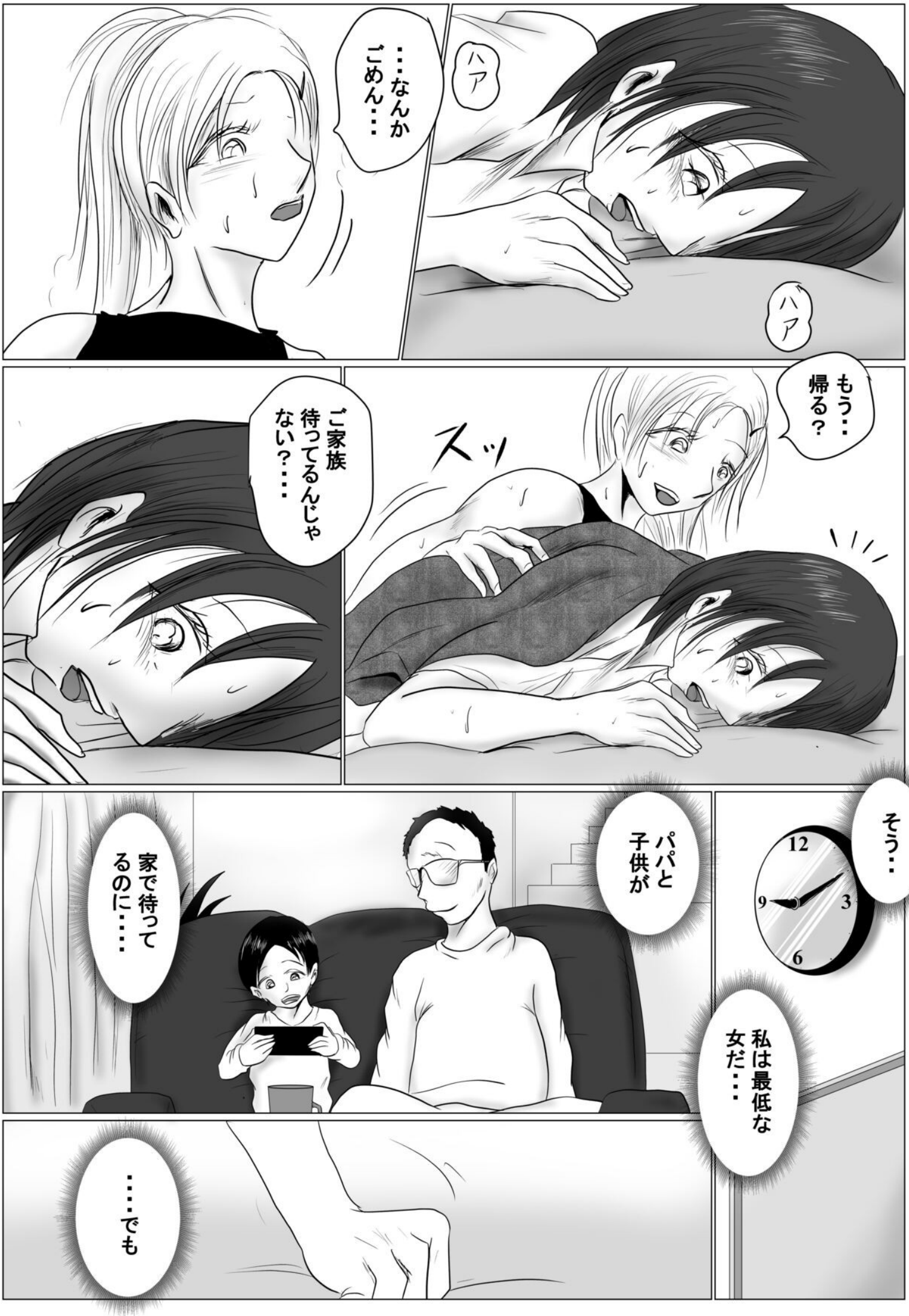

円満な生活を送る人妻静流は、SIHOと出会う。
SIHOに誘われ戸惑いつつも、家族が待つ家へ帰ろうとする静流。・・・・・が
SIHOの身体に魅せられ、抑え続けてきた欲情が爆発
超敏感な静流の身体は、絶頂＆潮吹きを繰り返す。


前回のあらすじ
マジメ系人妻
静流は・・・
帰宅途中
フタナリ美女
シホと出会う
シホの家で
まさかの展開に
初めは抵抗
ぎみだったが
人生初めての刺激に
身体が異常に反応する。
そして静流は
シホの身体に
吸い寄せられて・・・


あア…
気持ち……！
ニチュッ
ジュルルル！
イヤ…
あっ……！！
あ…放ひちゃ
ダメ…
もっと
ふっへ（吸って）…


そ…
そんなされながら
…
ムリ…！
むりい……！
ダ……メ
だっ…あっ！
シュル
シュル
またイ……
ズルッ
イク
からあ……！
だめ…
やば…
イク…
ビ

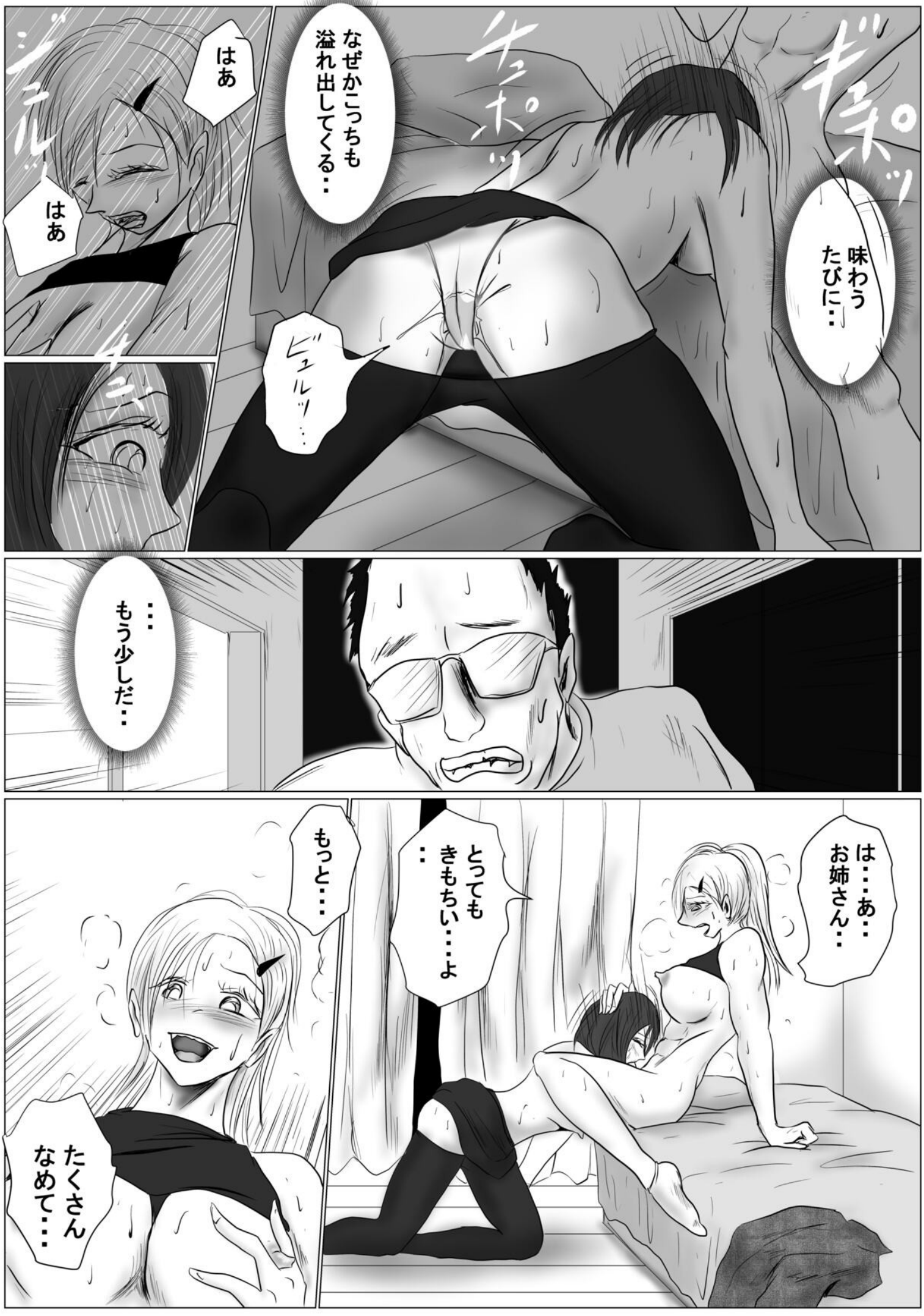

んんっ！！
ビクン
ビクン
プシュッ
はあ…。
はあ・・
はあ・・
はあ


ハア
…なんか
ごめん…
ハア
もう…
帰る？
スッ
ご家族
待ってるんじゃ
ない？…
そう…
パパと
子供が
家で待って
るのに…
私は最低な
女だ…
…でも


止まらない
シホさん……！
えっ…？
私ばかり…気持ちよくなって…
ハア
ハア
あなたはまだ…イってないじゃん
はっ…あっ……
チュッ
キュッ
ビクン！
おち…おちんちん…見せて…
え…？あ…うん…


ハァ
ところぉ
ビクン
ハァ
ビクン
ハァ
ハァ
ハァ
チュッ
おっきい・・
ニュポッ
んんっ！
ビクッ
おいしい・・・・


たまらない
っ……
うっ……
く……
子作りの時
…苦労したなあ
…
ED気味のパパのを
元気にさせるのに
苦労した。
でも…
こんな…
魅力的な…
まるで…
作業だった…
シホさんの
おちんちん
……


味わうたびに・・
ギシッ
なぜかこっちも溢れ出してくる・・
ヒュルッ・・・
はあ
はあ
ジュル
もう少しだ・・
・・・
は・・・あ・・お姉さん・・
とってもきもちい・・・よ・・
もっと・・・
たくさんなめて・・・


あなたの・・
お口で
チュボッ
イキたい・・・
んっ
ビュッ
ビュルル
チュボッ
ああ
イキそ・・・・
んっ
チュボッ
や・・ッ
ヤバいでちゃう！
ダメ・・・お口・・
離してっ・・・
んっ
ズボッ


イクうっ！

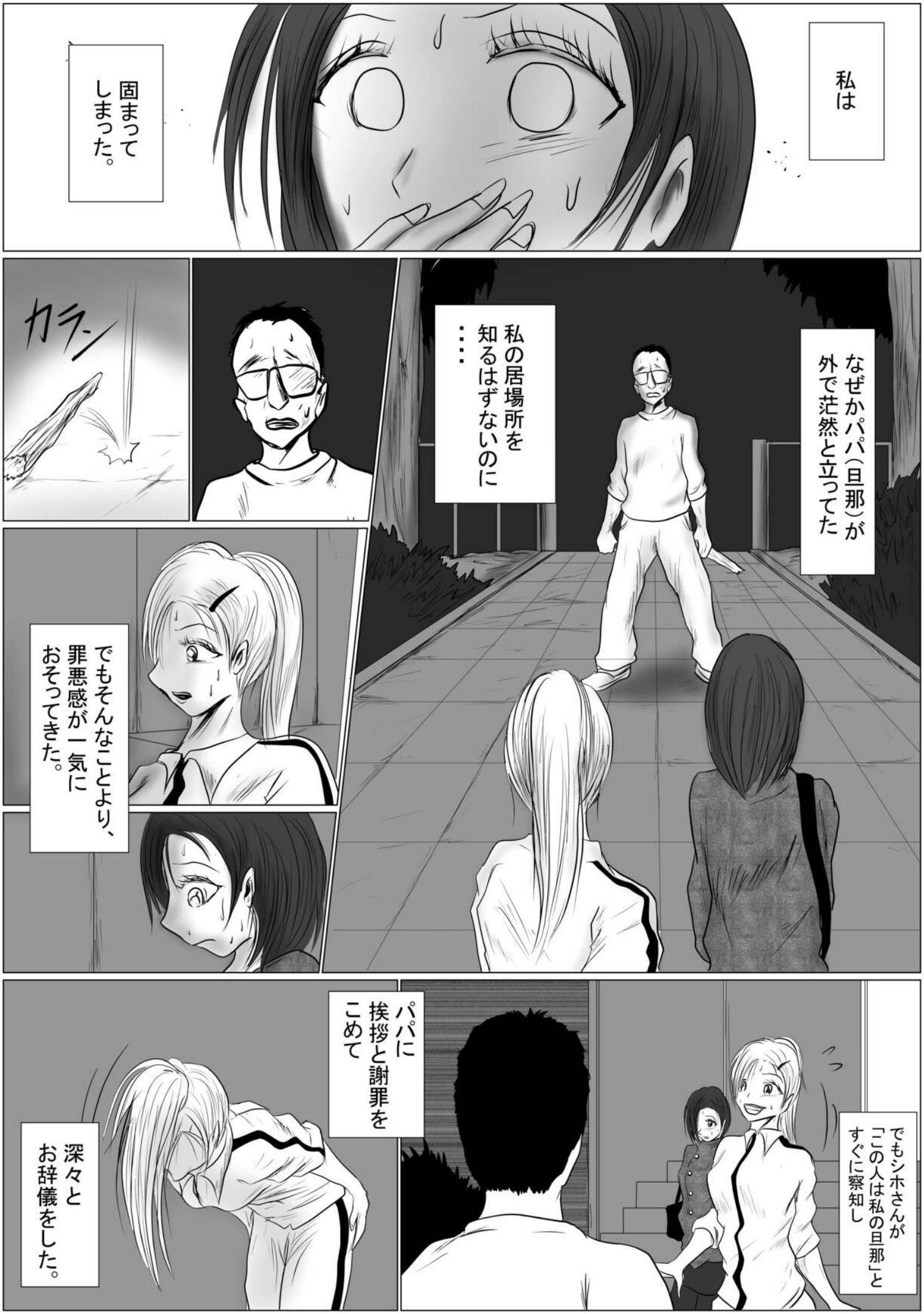

んんっ！


あはあっ！
はあっ
はあっ！
はあっ
ビクッ
ビクッ
ネト～
……！
すごい・・
こんなに・・
シホさんの
精液・・・
ほしい・・・
クチュ
ん…っ
・・・・
中にほしい・・・
あっ


はあ
はあ
場所は・・
ここみたいだな
22:08
・・・でも号室が
わかんねえや
出てくるのを
待つしかないな・・
もし・・・
男と一緒だったら
・・・
ガサッ

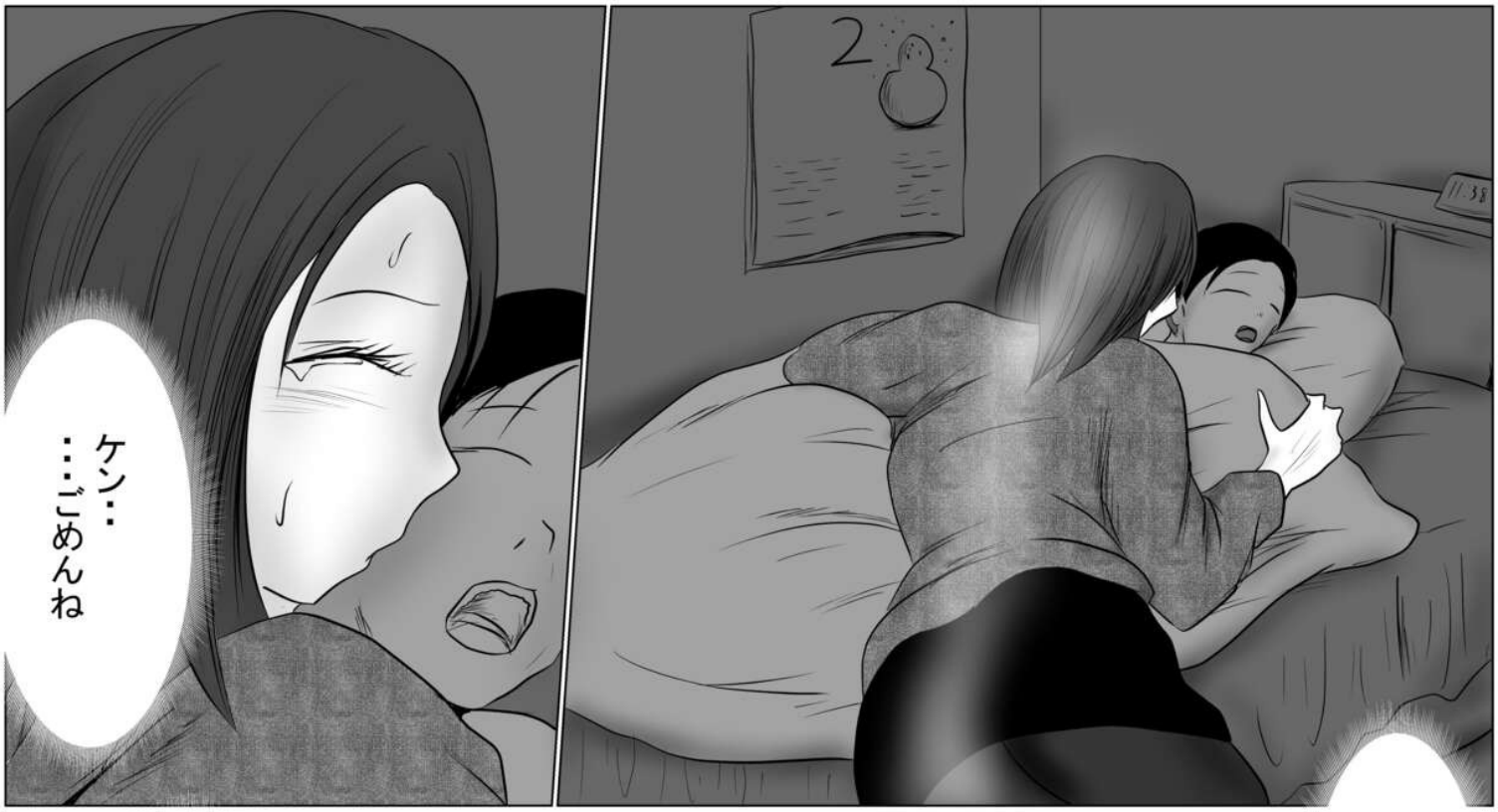

ちゅく
ハァ
ちゅっ
ハァ
12
3
6
9
はっ！
やば・・
もうこんな時間
帰らなきゃ
・・・
・・そ・・
そうだね・
ごめん・
ふいたげる
あ・いいよ
自分でする
お互い様だし
・・・・
22:00

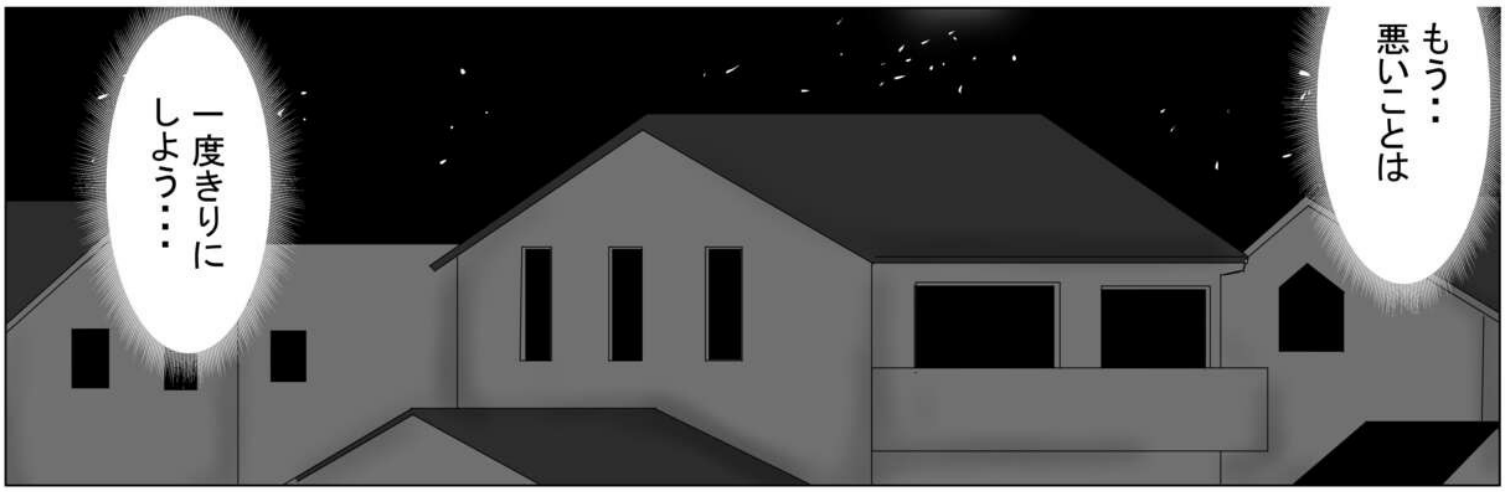

！
静流・・！
ガチャ
一人・・？
いや・・・
おと・・・！
男・・じゃない？
女性！？


私は
固まってしまった。
カラン
なぜかパパ(旦那)が外で茫然と立ってた
私の居場所を知るはずないのに……
でもそんなことより、罪悪感が一気におそってきた。
でもシホさんが「この人は私の旦那」とすぐに察知し
パパに挨拶と謝罪をこめて
深々とお辞儀をした。


そしてシホさんは
やむおえず嘘の説明
「ヨガトレの為
こんな時間になり
もうしわけありません」
パパは少し
納得の表情
私は・固まってた。


ほんと・・
ごめんね
あ・・ああ・・
まあたまには
・・・しょうがないね
イヤッ・・
ダメエ・・
・・・あの時の
声は気のせい・
・・??
少し冷静になって
かんがえてみると
なんでパパは
居場所知ってたん
だろ・・・


2
ケン・・
・・・ごめんね

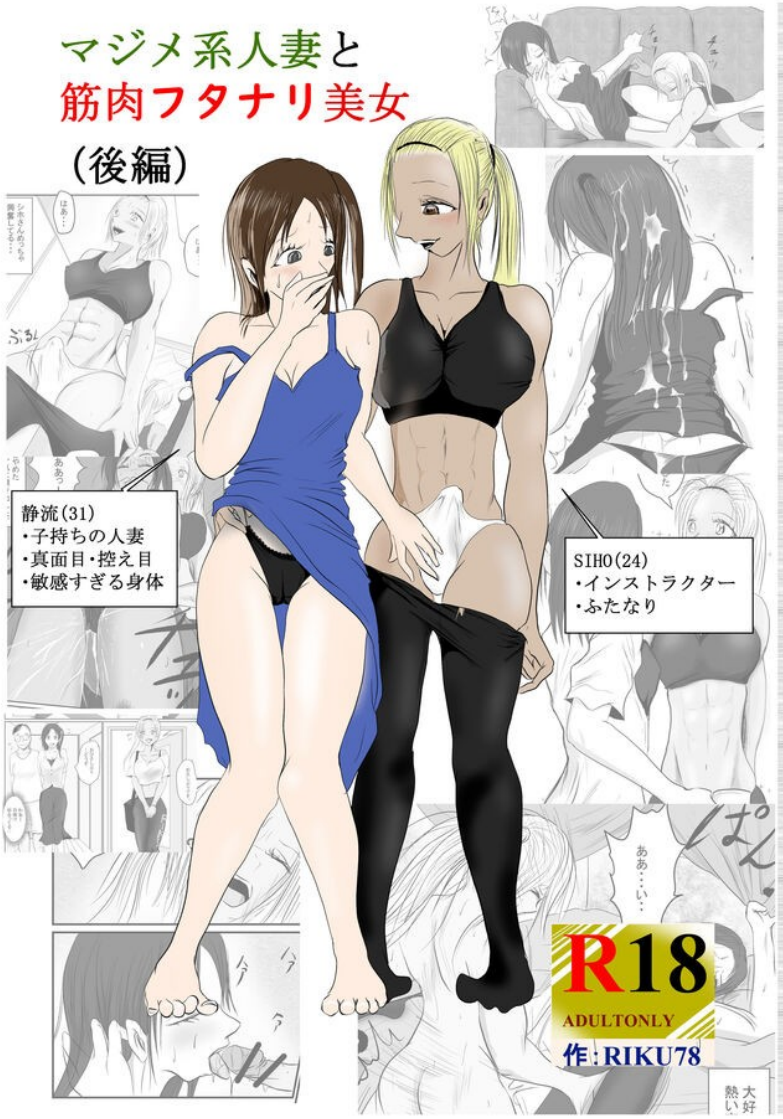

もう・・
悪いことは
一度きりに
しよう・・・


半年後

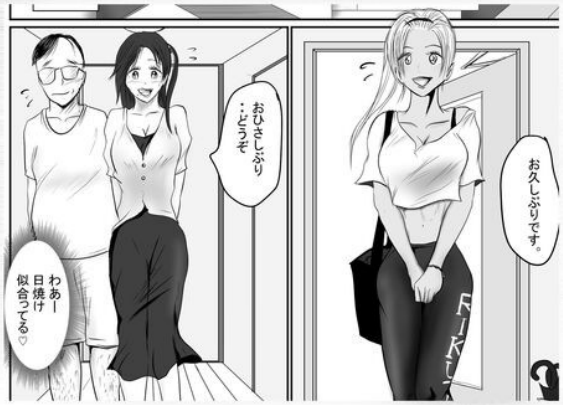

あの時のことはきっぱり忘れて
元の生活に戻りました
戻った…つもりでした…
…だめ…思い出しちゃ……
ニギ…
モジ
モジ
もう…忘れたいのに…


自分が知らなかった自分の身体・・・あんなに敏感で
すぐに絶頂しちゃってた。。。あんなきもちよかったのは初めて・・シホさん・・・
ハァ
ハァ
ハァ
ビクン
ビクン
んんっ!!
私はこれまでの真面目な人生を送り続けた反動で、一気にシホさんに対する浮気心が芽生え
いけないと思いつつ・・・再び会いに行く決断をした。
ヒクッ
ヒクッ
TO BE CONTINUED

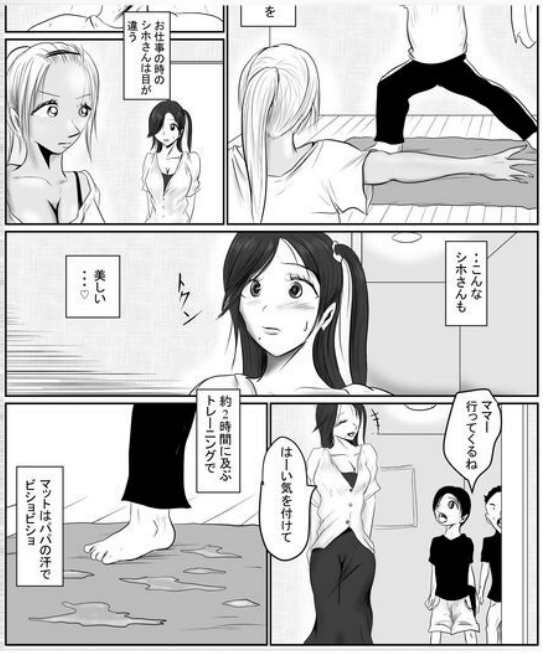
マジメ系人妻と
筋肉フタナリ美女
（後編）

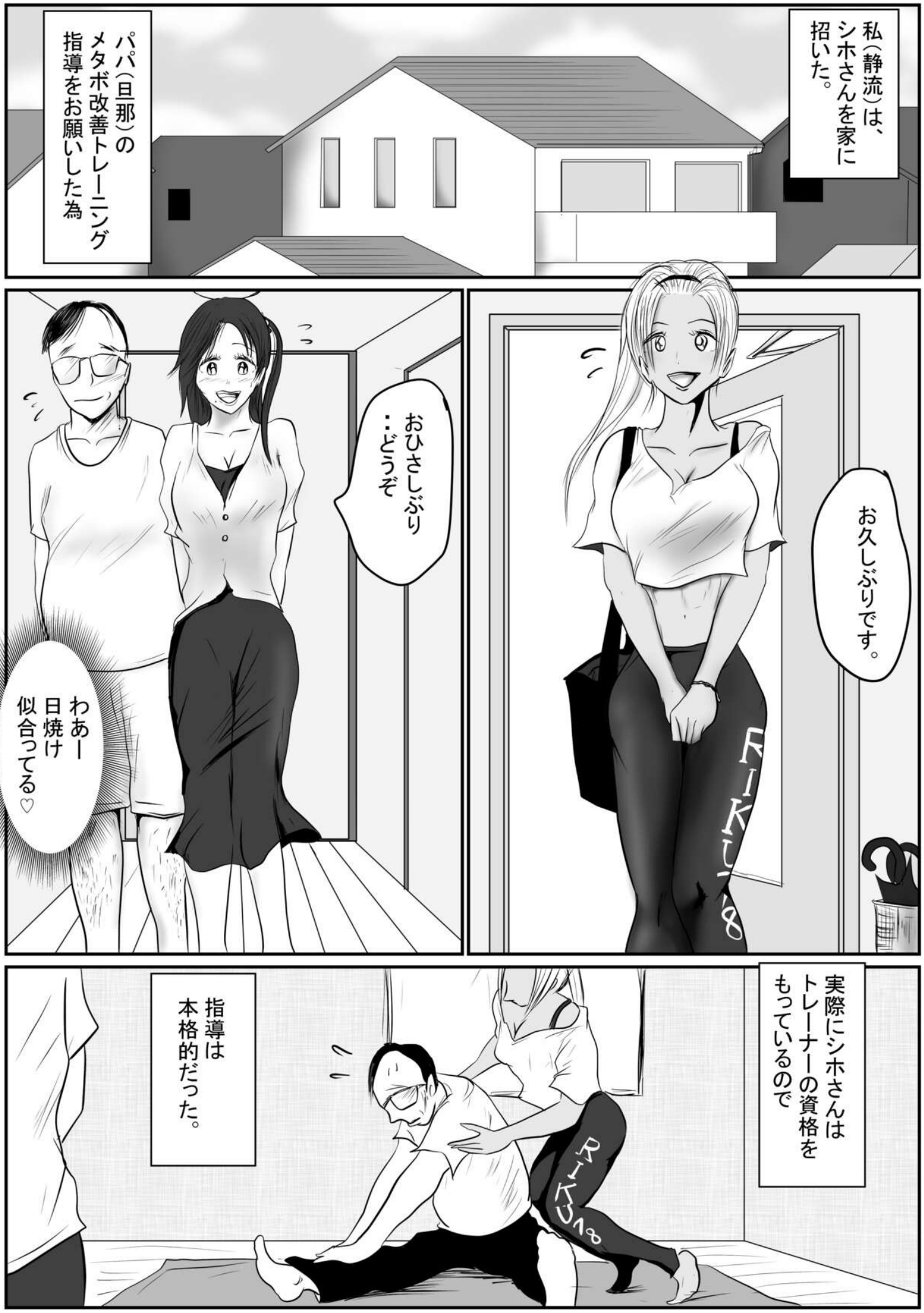


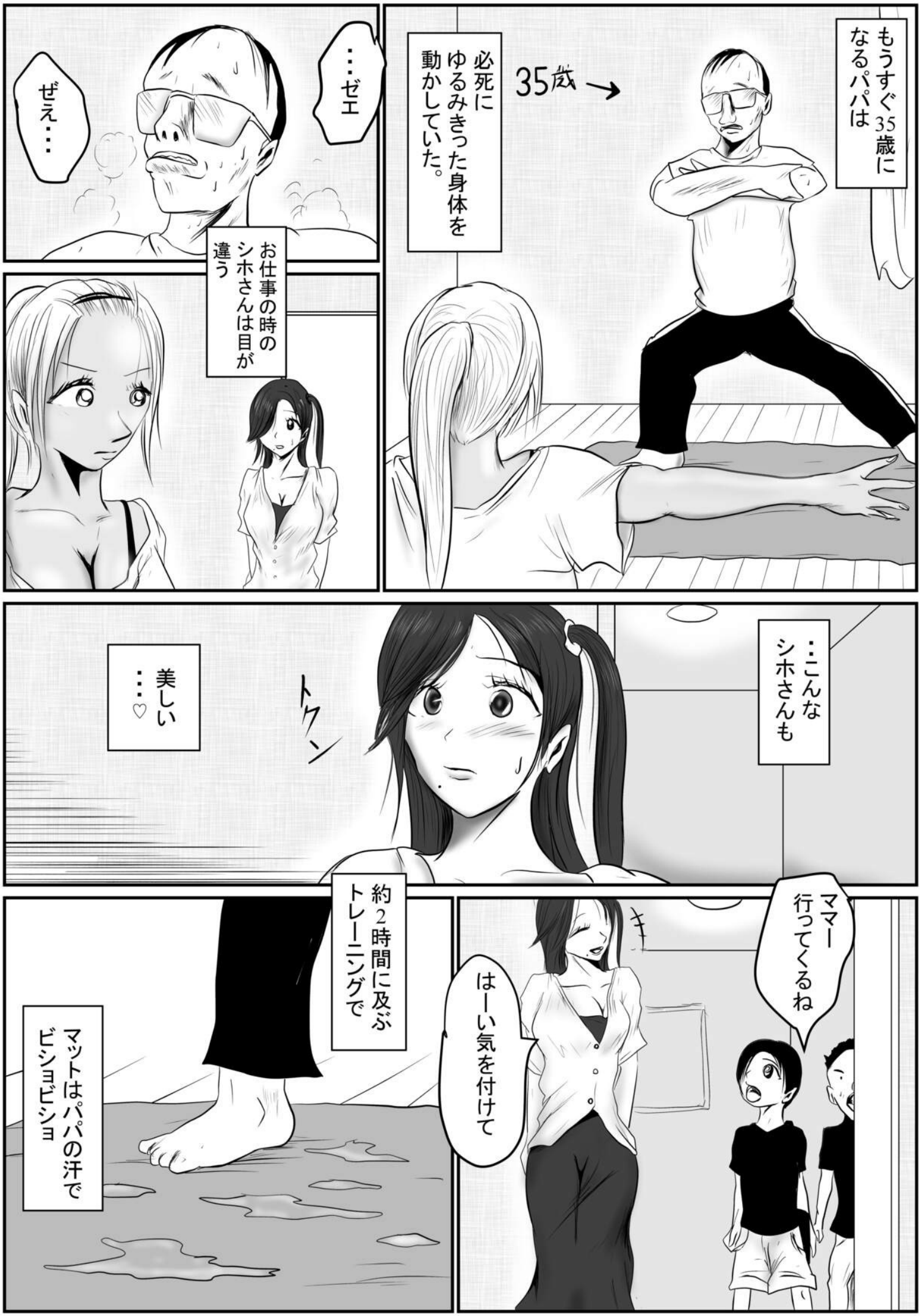
再開を果たした二人は

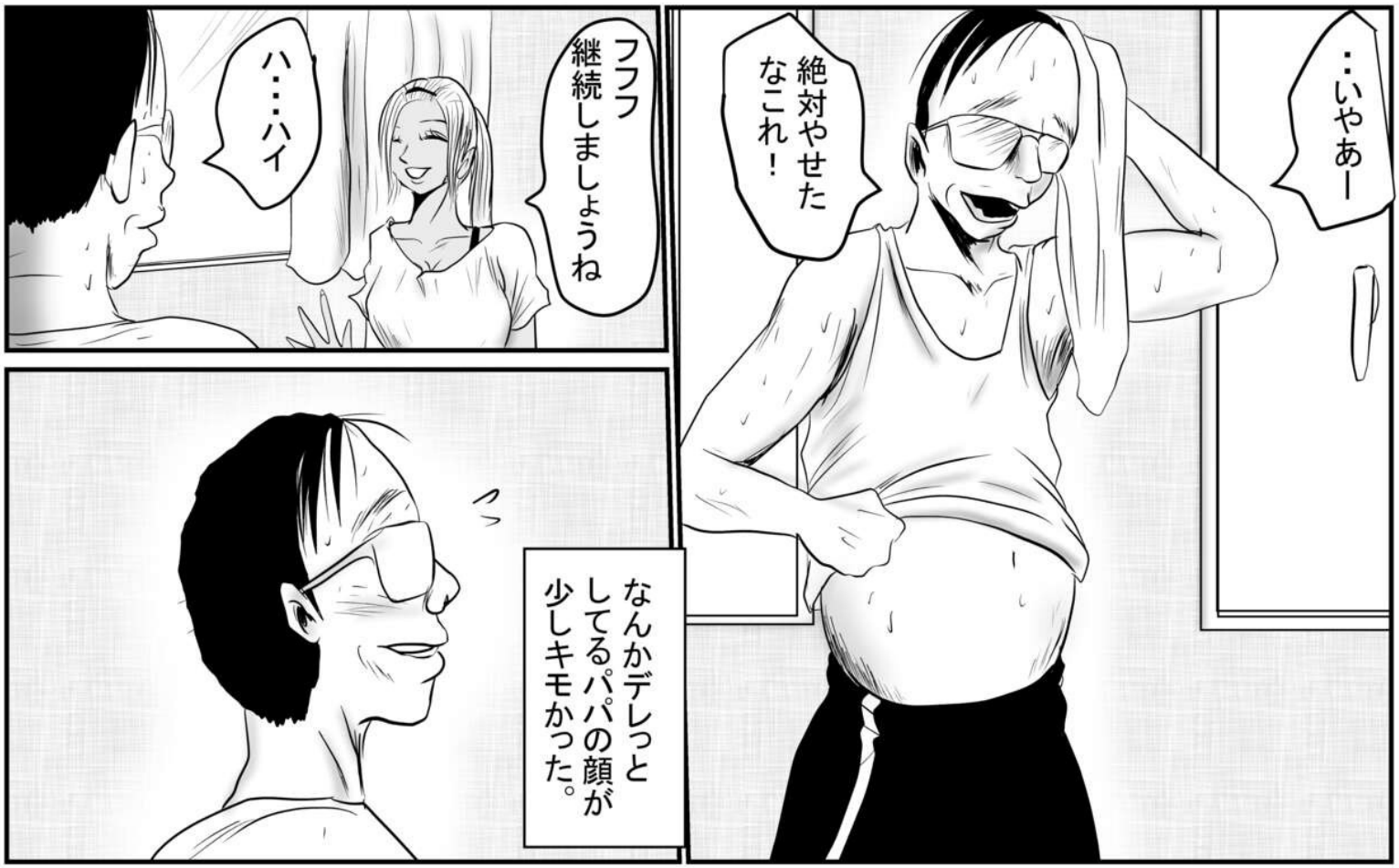


前回の「続き」を求め

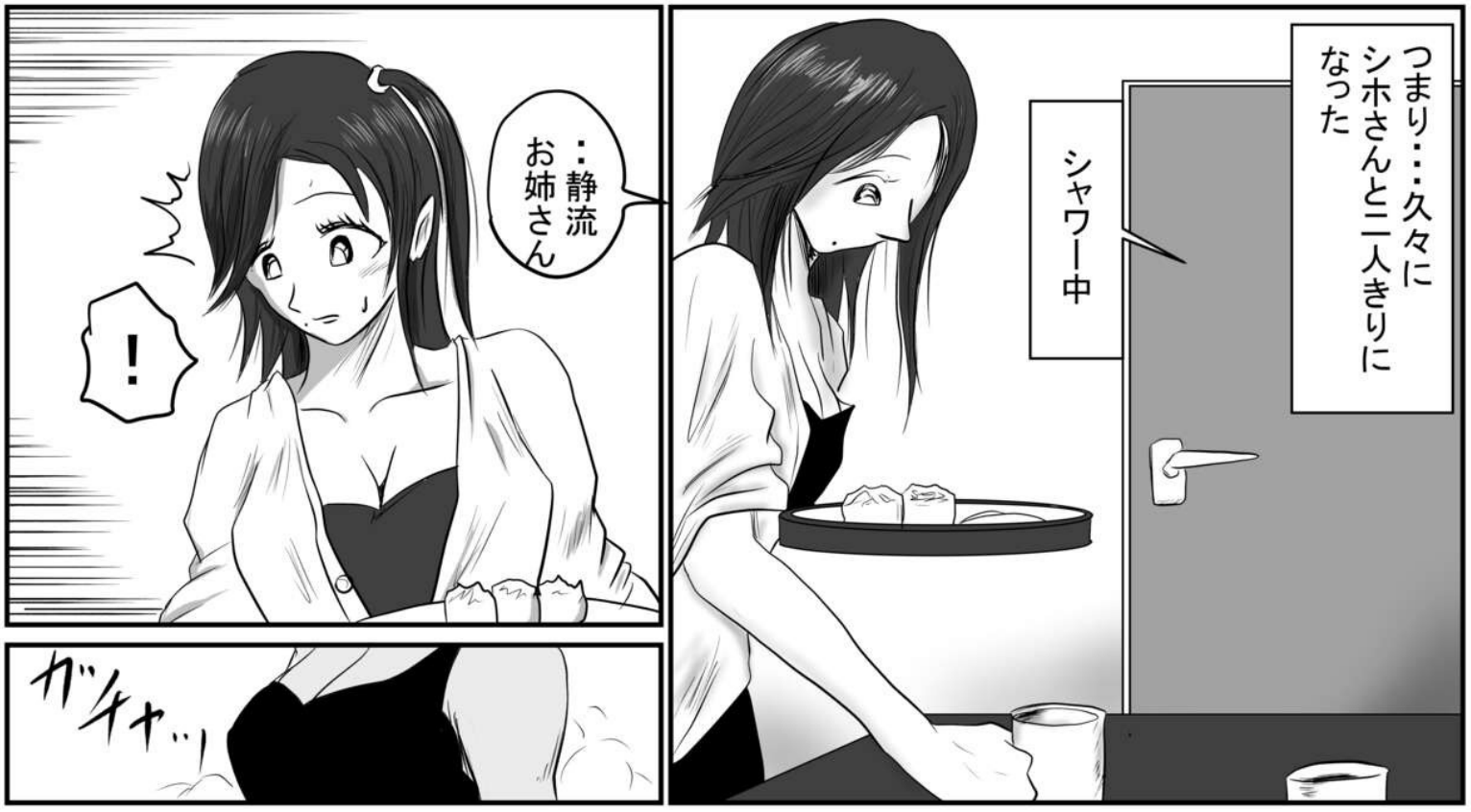


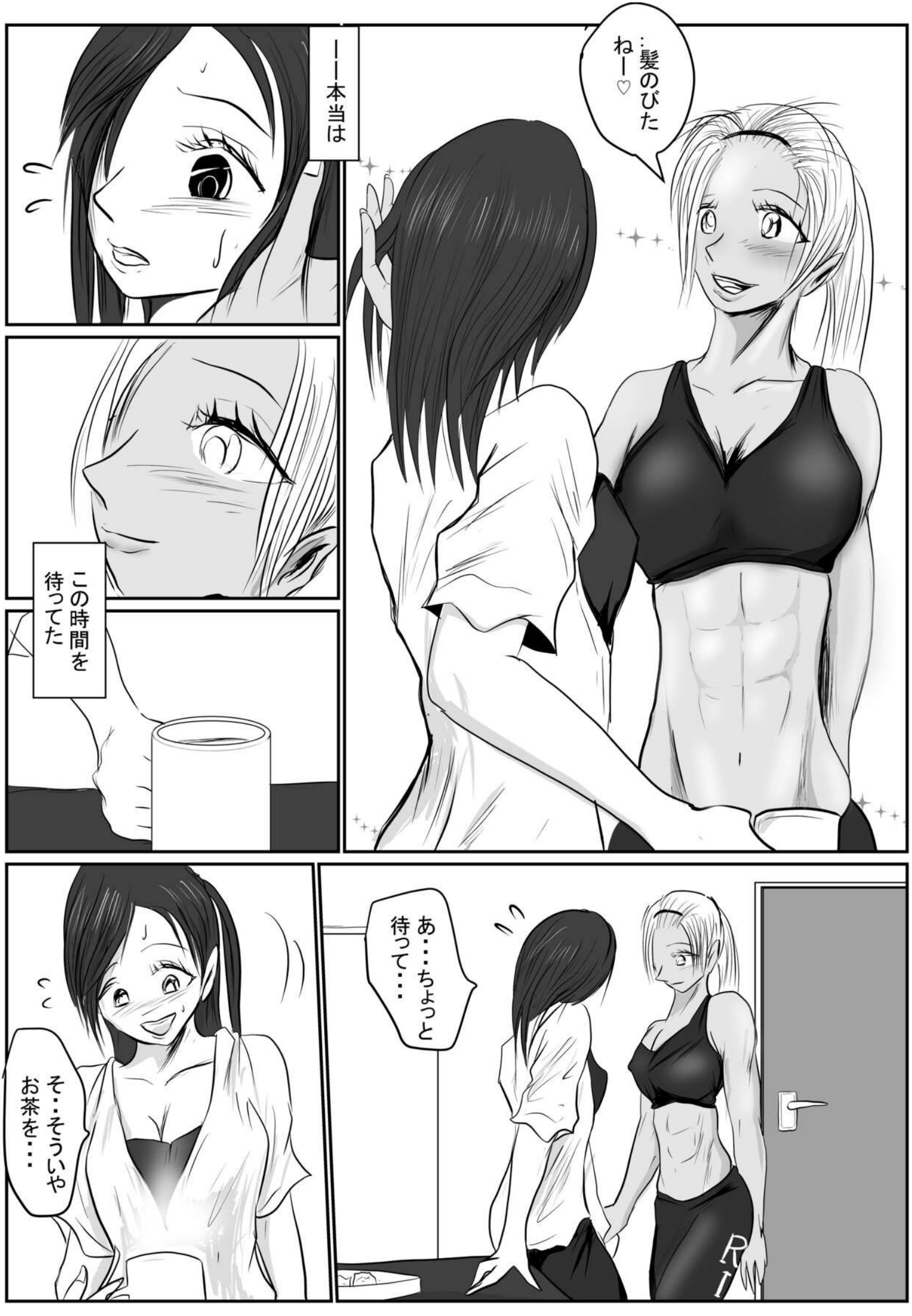

私(静流)は、
シホさんを家に
招いた。
パパ(旦那)の
メタボ改善トレーニング
指導をお願いした為
お久しぶりです。
おひさしぶり
・・どうぞ
わあー
日焼け
似合ってる♡
実際にシホさんは
トレーナーの資格を
もっているので
指導は
本格的だった。

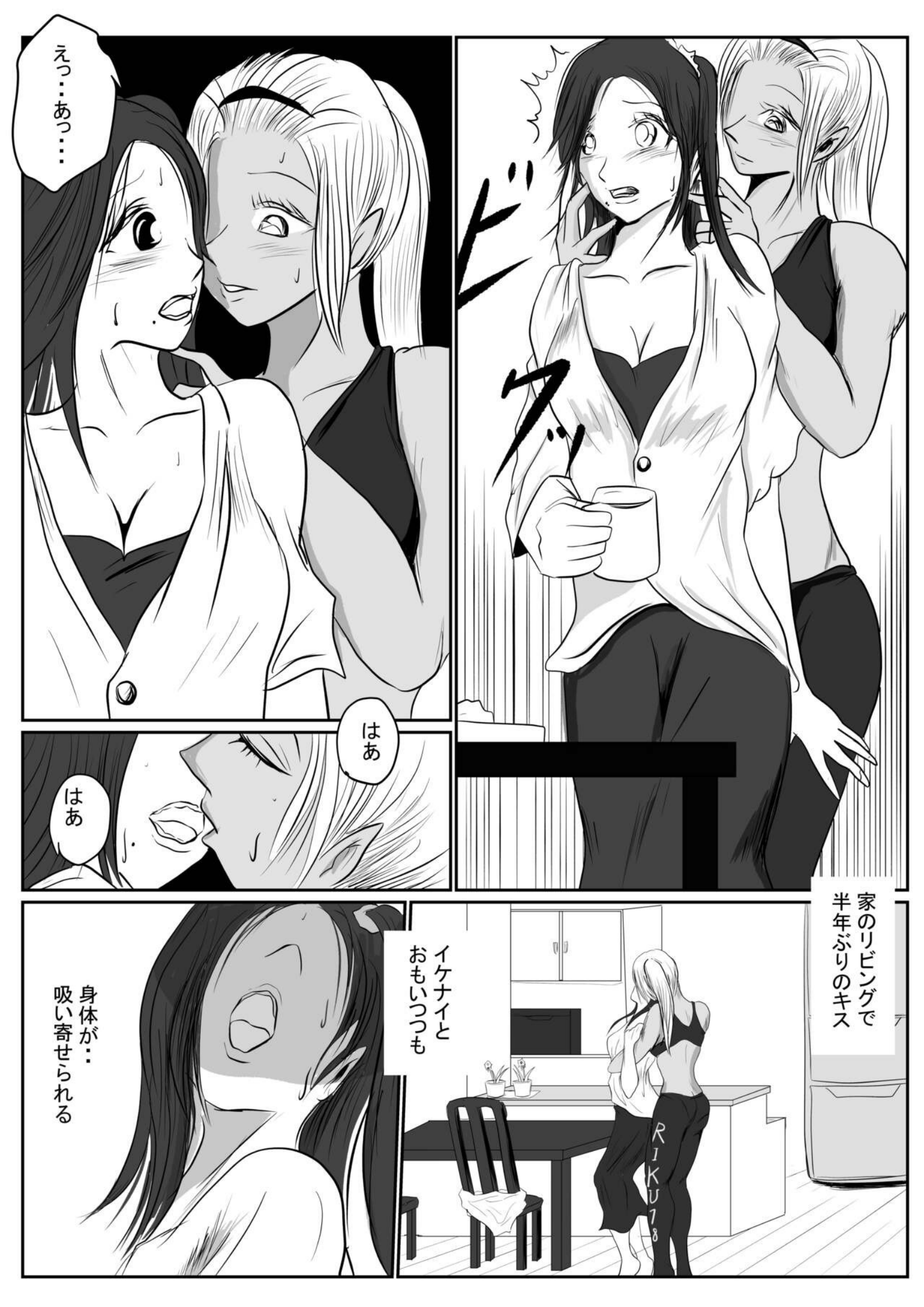

もうすぐ35歳になるパパは
35歳→
必死にゆるみきった身体を動かしていた。
・・・ゼエ
ぜえ・・・
お仕事の時のシホさんは目が違う
・・こんなシホさんも
トクン
美しい・・・♡
ママー行ってくるね
はーい気を付けて
約2時間に及ぶトレーニングで
マットはパパの汗でビショビショ

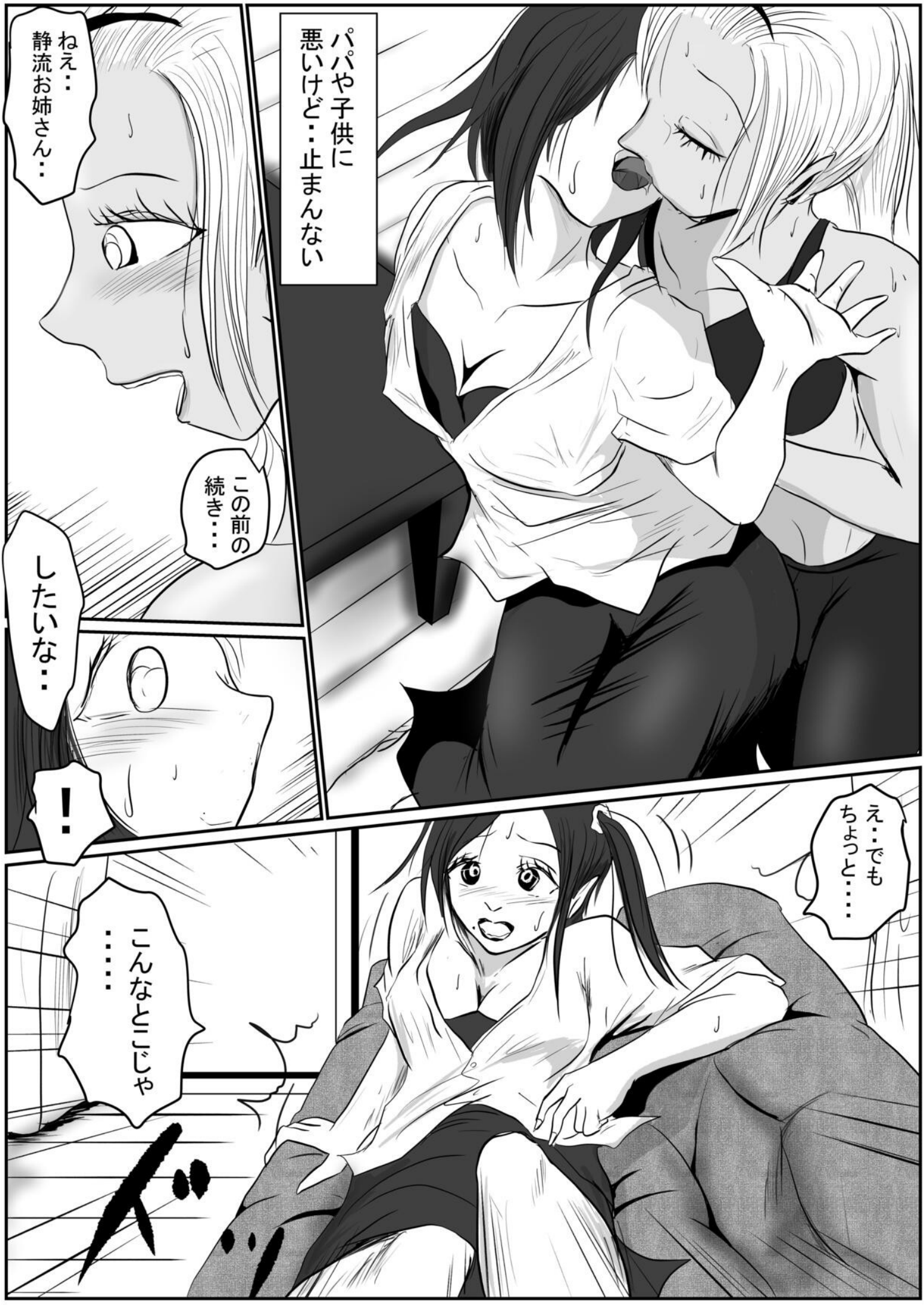

・・いやあー
絶対やせたなこれ！
フフフ継続しましょうね
ハ・・・ハイ
なんかデレっとしてるパパの顔が少しキモかった。

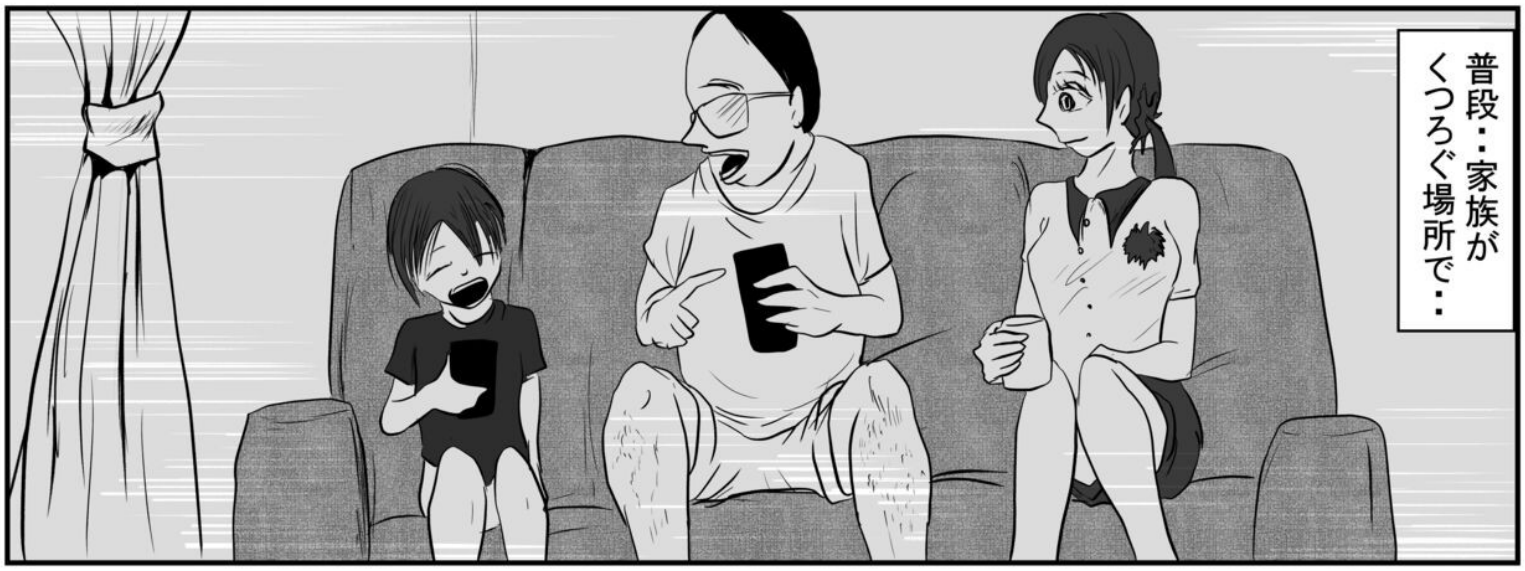

その後、パパは特別時差勤務で夜まで出勤
息子は夕方まで塾と友達の家

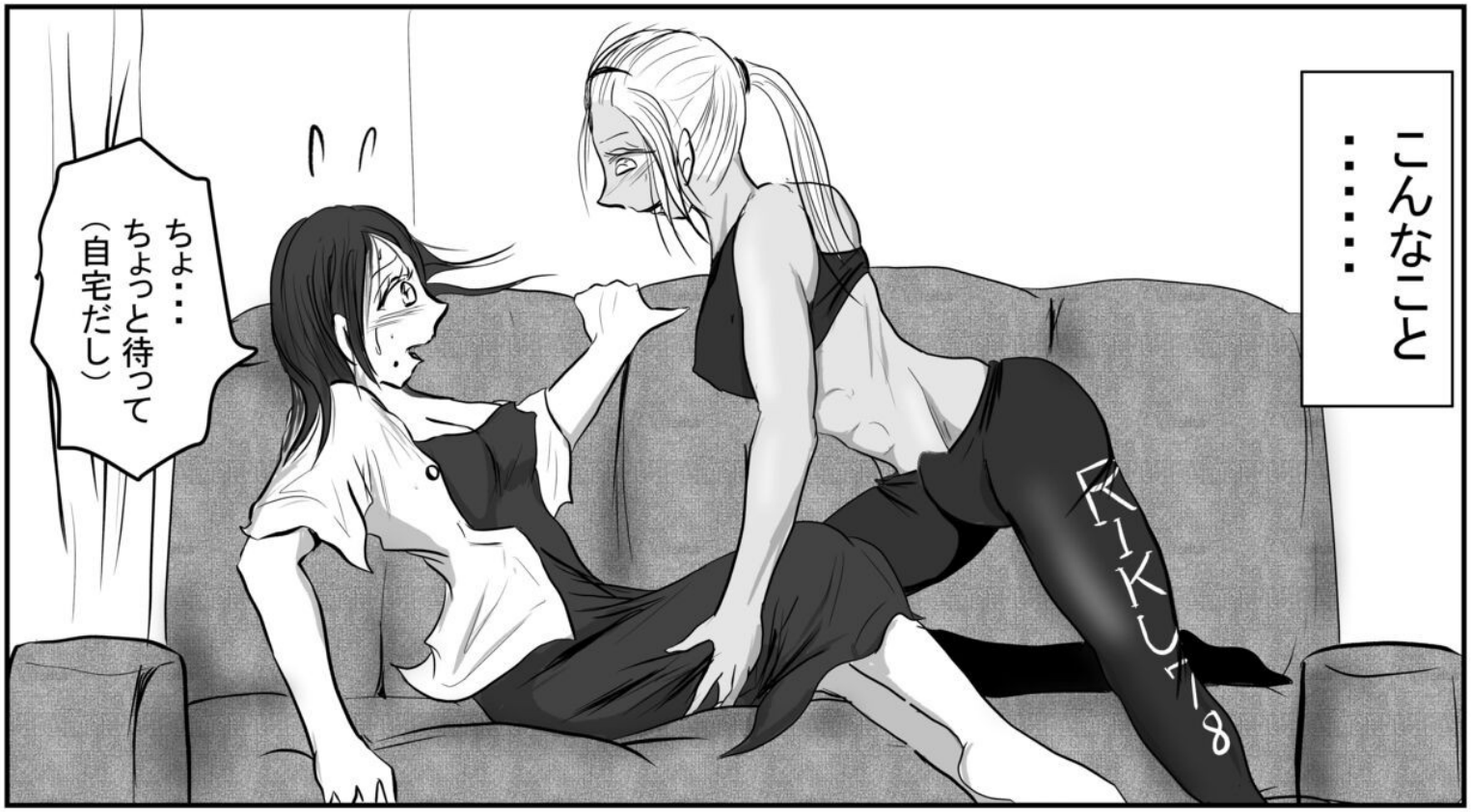

つまり・・・久々にシホさんと二人きりになった
シャワー中
・・静流お姉さん
！
ガチャッ！

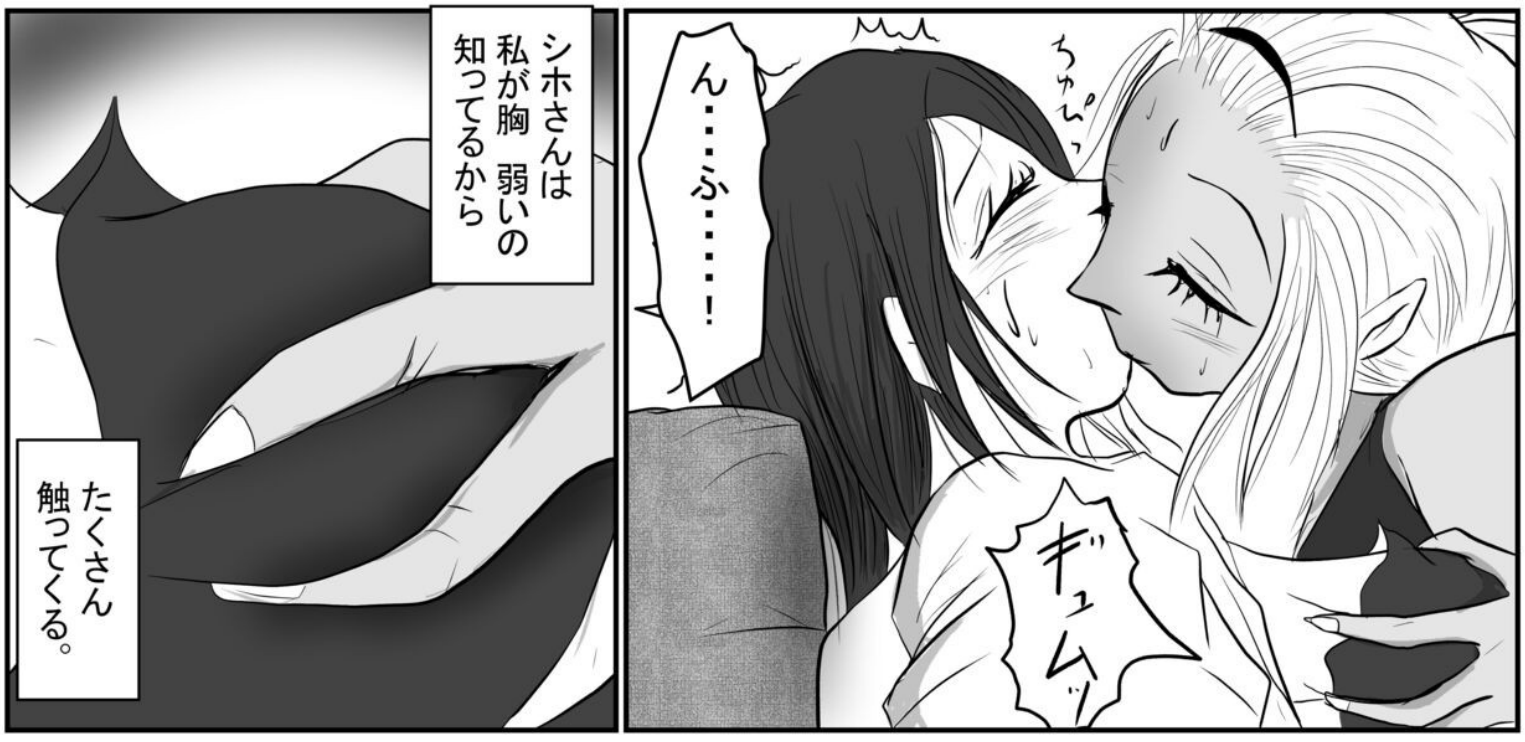

髪のびたねー♡
――本当は
この時間を待ってた
あ…ちょっと待って…
そ…そういやお茶を…


えっ・・あっ・・・・
はあ
はあ
家のリビングで
半年ぶりのキス
イケナイと
おもいつつも
身体が・・
吸い寄せられる
RIKU78

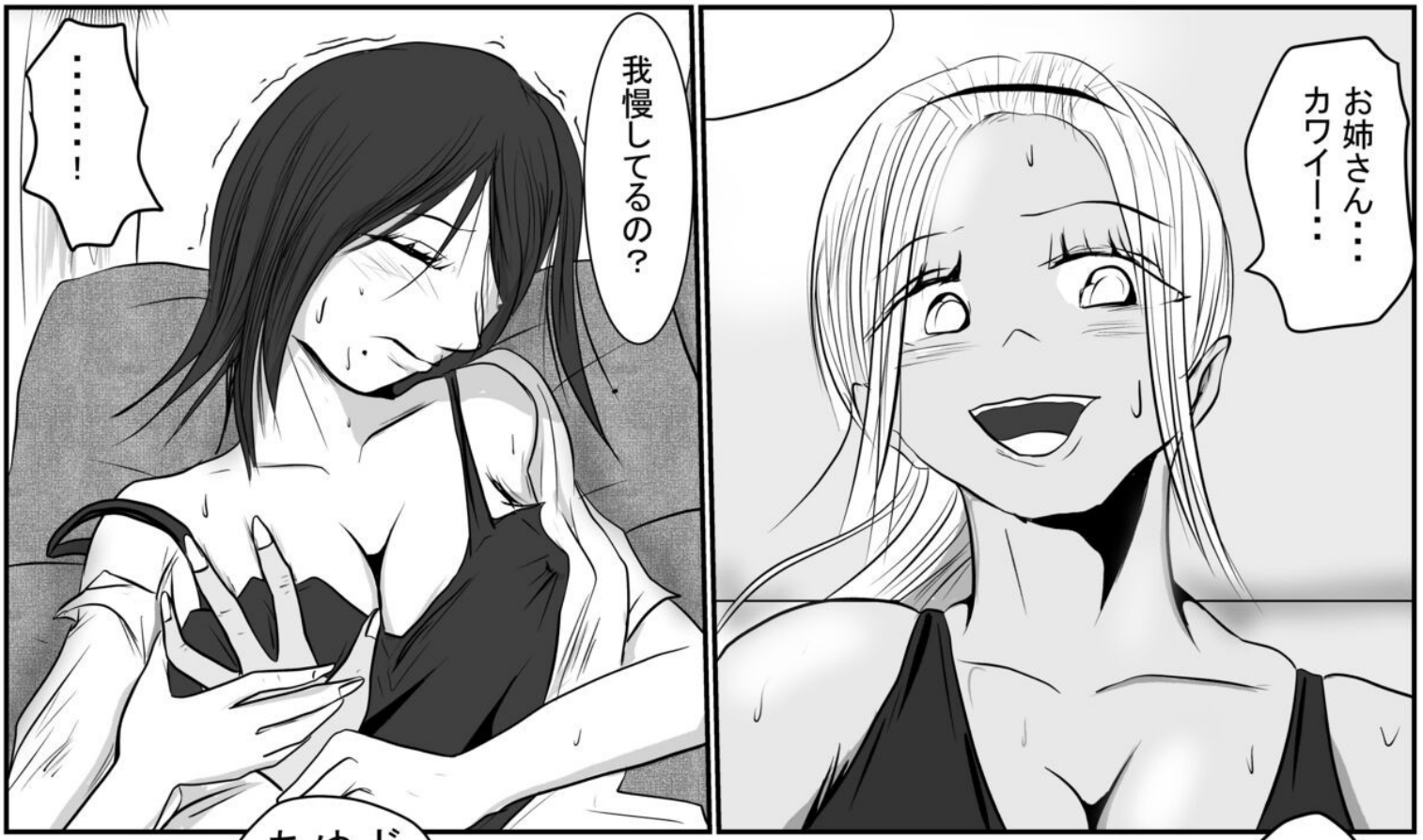

パパや子供に悪いけど・・止まんない
ねえ・静流お姉さん・・
この前の続き・・・
したいな・
！
え・・でもちょっと・・・・
こんなとこじゃ・・・・

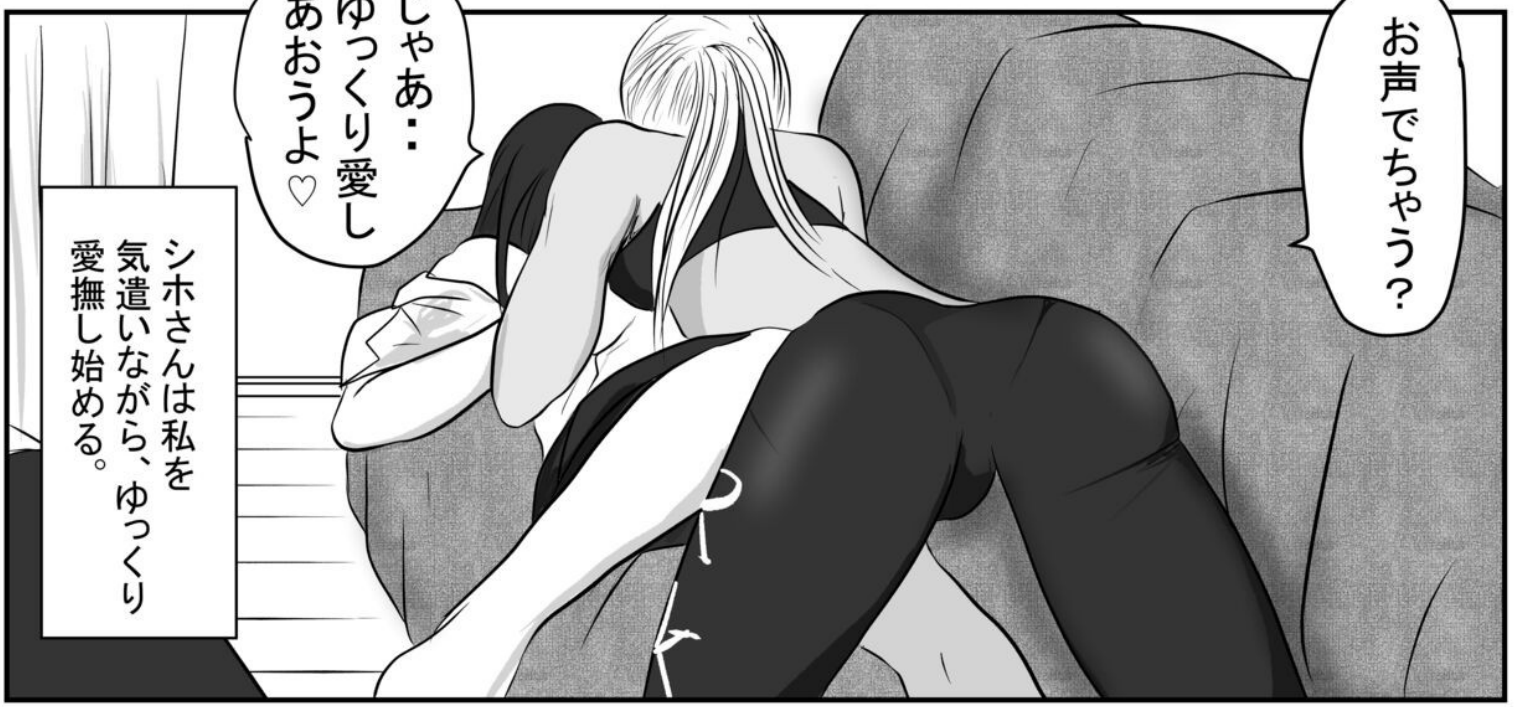

普段・家族がくつろぐ場所で・・


こんなこと……
ちょ…ちょっと待って（自宅だし）


ん…ふ…！
ちゅぷっ
ギュムッ
シホさんは私が胸弱いの知ってるから
たくさん触ってくる。

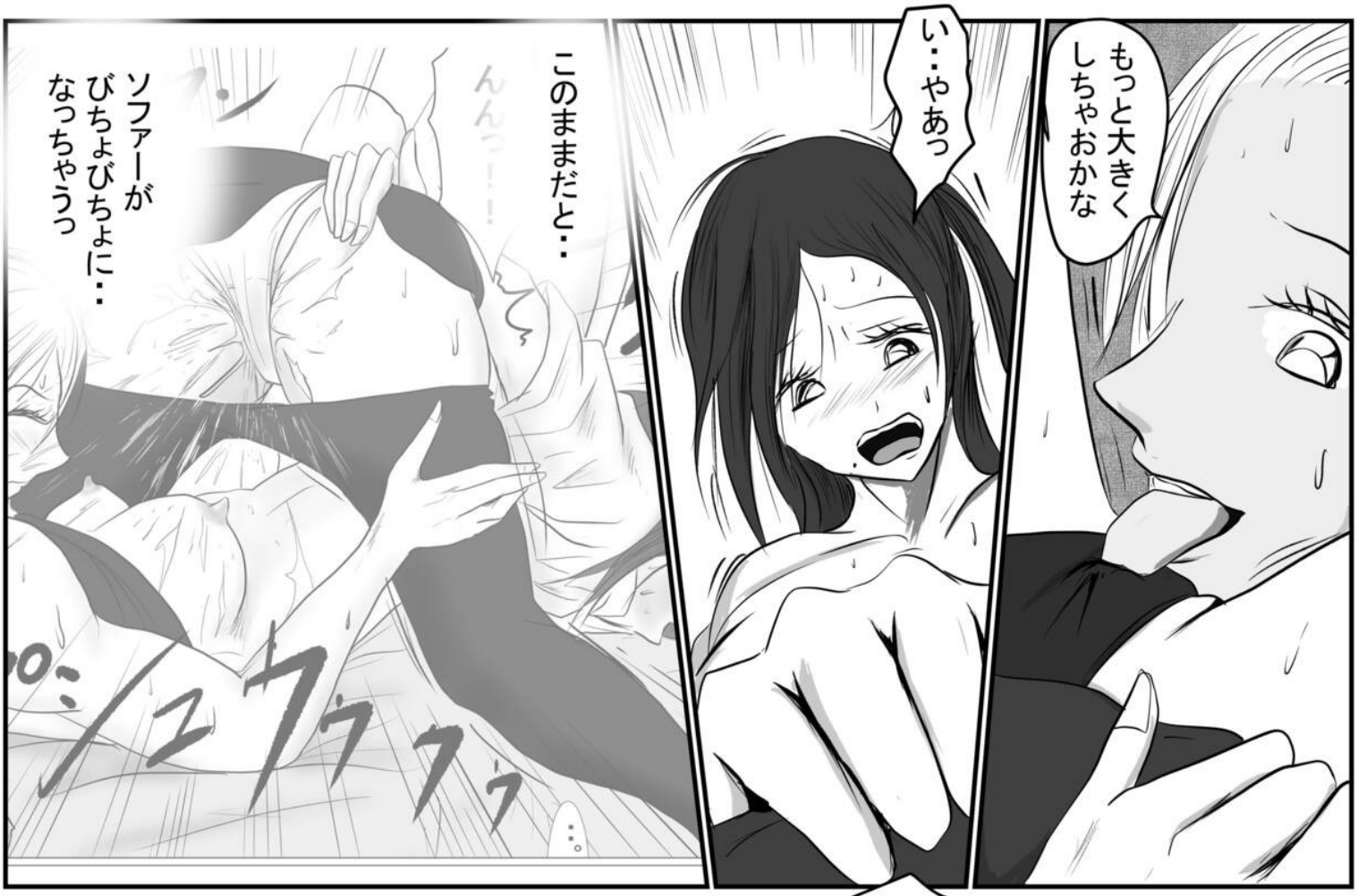

いや・・ああなる事
知ってるくせに
イっちゃ
・・・・う・・・
そんなん・・
こんなとこで
やめてっ！

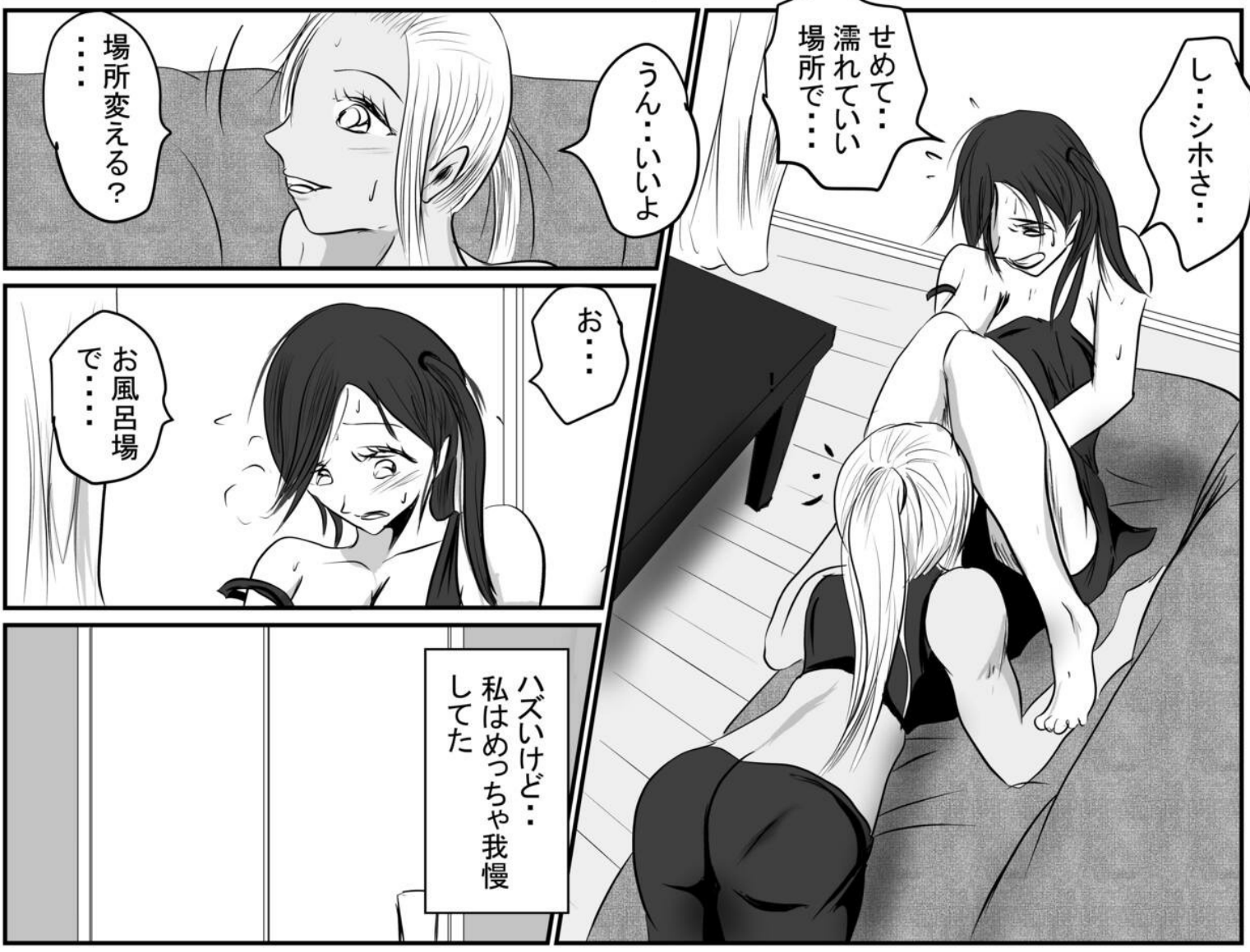

お姉さん・・・
カワイー・・
我慢してるの？
・・・・・・！

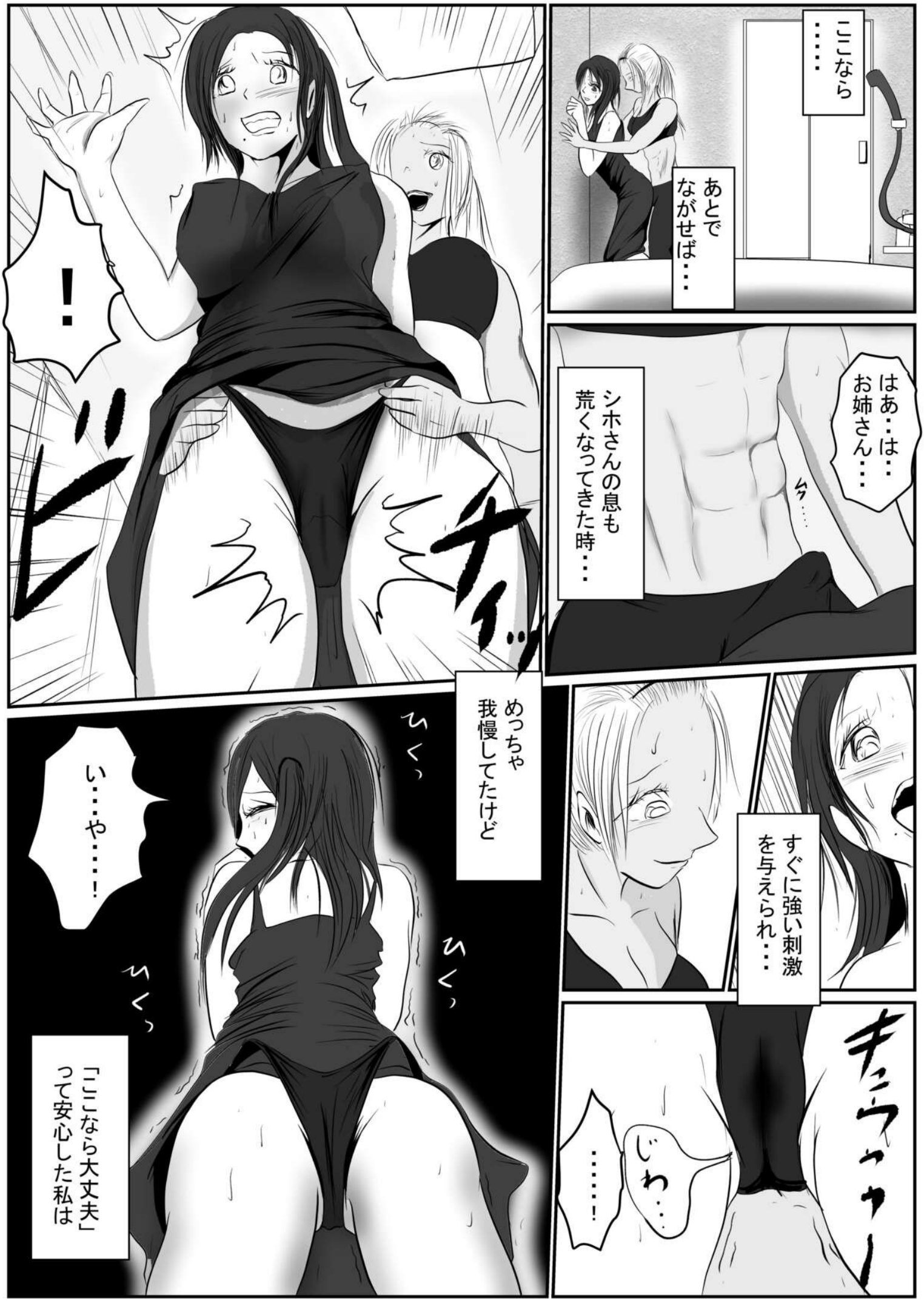

お声でちゃう？
じゃあ・・
ゆっくり愛し
あおうよ♡
シホさんは私を
気遣いながら、ゆっくり
愛撫し始める。

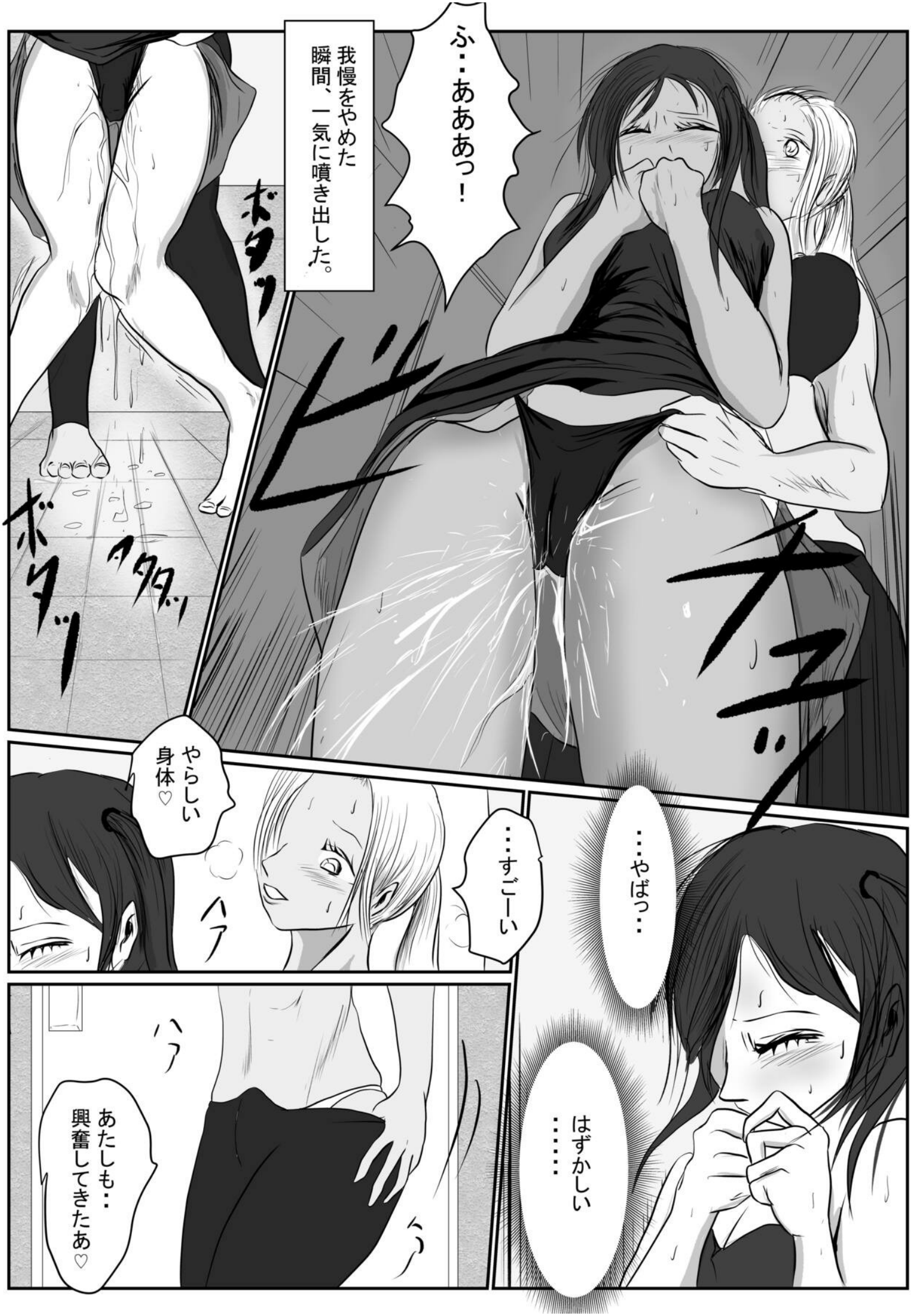

アノ時より優しく
やわらかい手付き・・
ソフトに際どく
愛撫してくれた・・
それが逆に興奮して
くる・・・
声を抑えるのに必死だった。
ヒク
ヒク
チュッ
チュッ

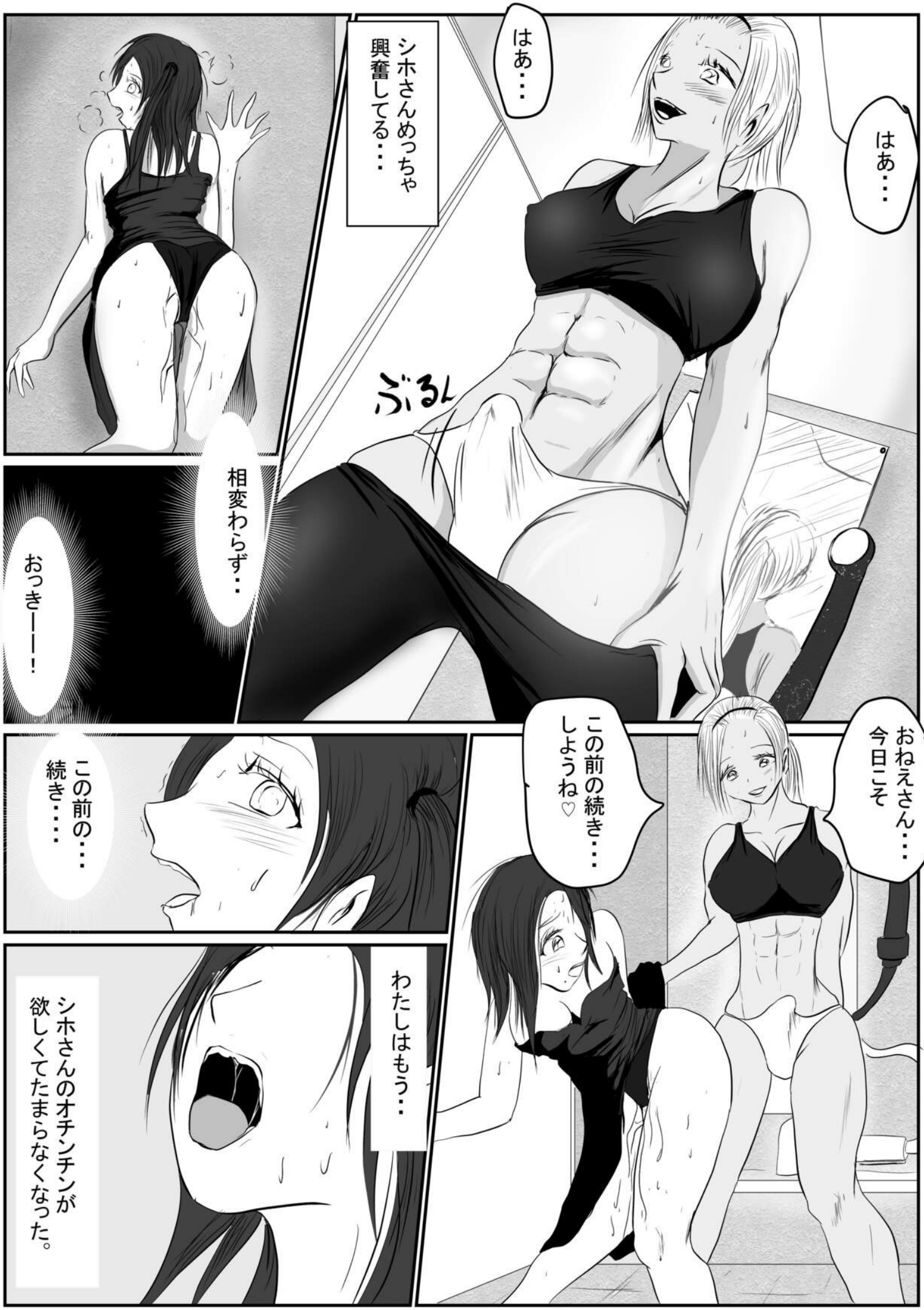

身体をヒクつかせながら
私は必死に
声を抑えていたが
・・・
シホさんの舌が
ついにアソコに触れたとき
うっ・・・
くっ！・・・・
ビクッ
ちゅう
反射的に
大声を出して
しまった。
事前の焦らし的な愛撫で
私の感度が上がってたのかな。
い・・や・・・
やめてっ・・・！
あは・・相変わらず
すごい反応・・クリちゃん
ビンビンだよ♡

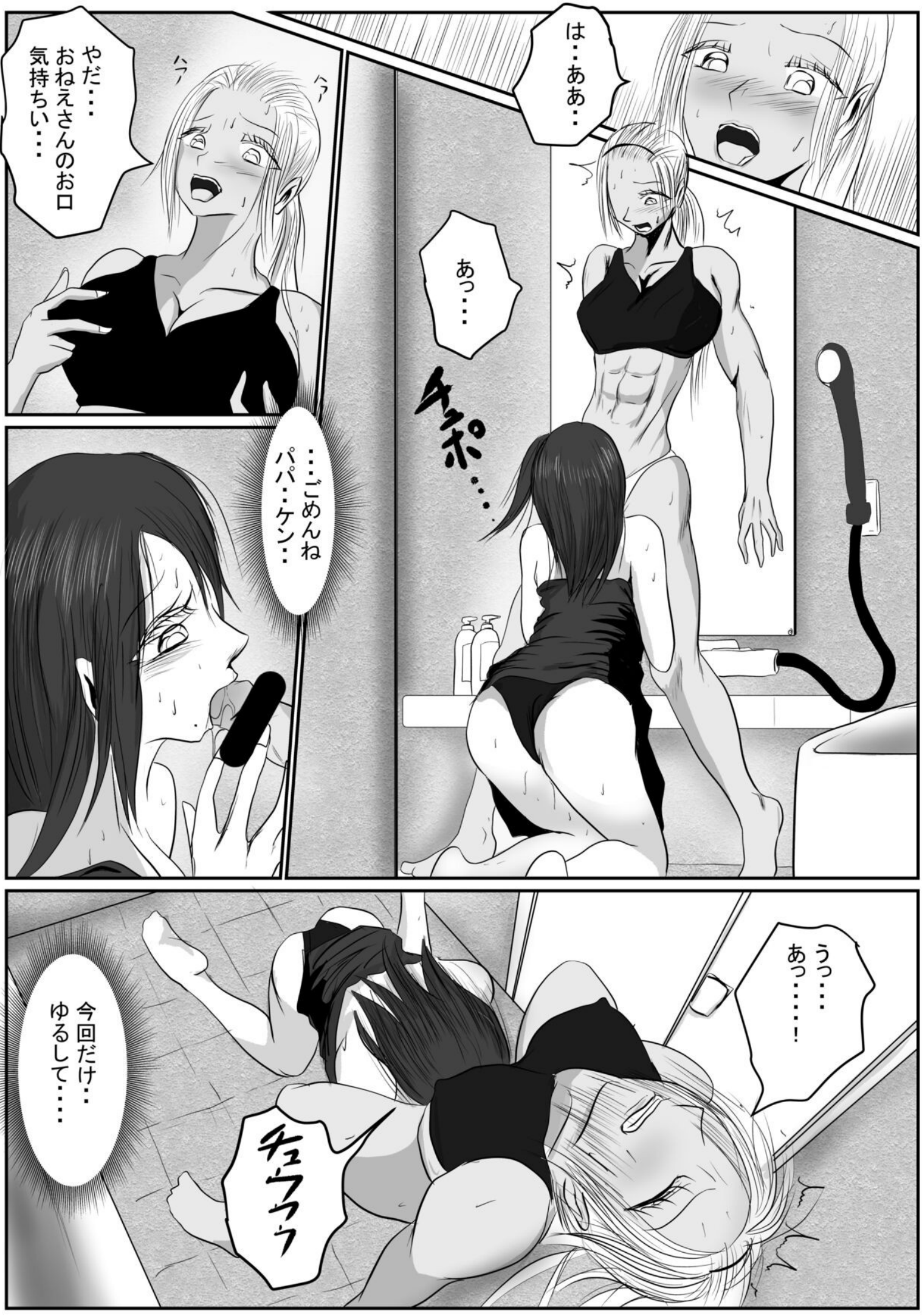

もっと大きくしちゃおかな
い・・やあっ
このままだと・・
んんっ！！
ソファーがびちょびちょに・・なっちゃうっ

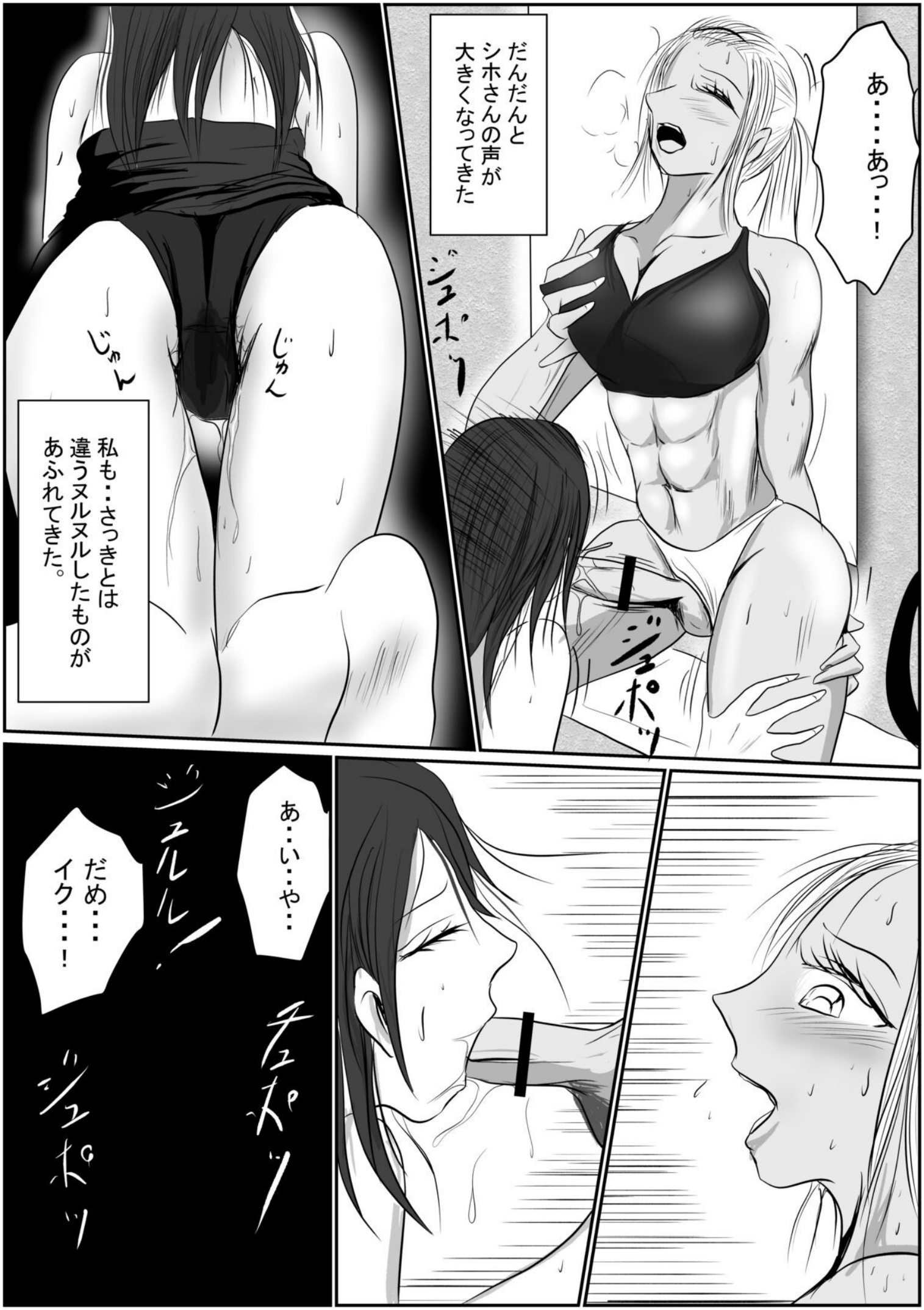

し・・シホさ・・
せめて・・濡れていい場所で・・・
うん・・いいよ
場所変える？・・・・
お・・・
お風呂場で・・・・
ハズいけど・・私はめっちゃ我慢してた

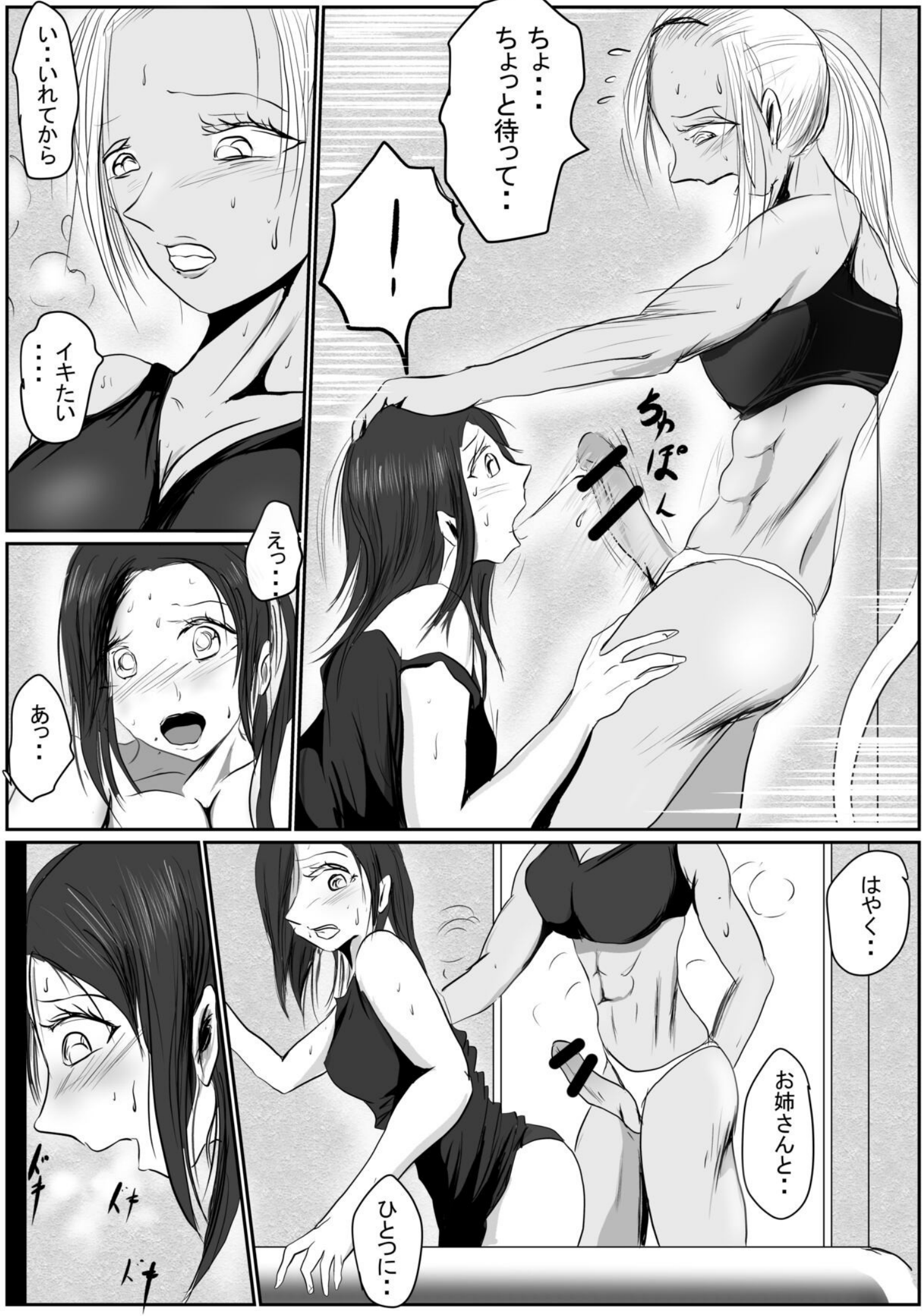

ここなら……
あとでながせば…
はあ…は…お姉さん…
シホさんの息も荒くなってきた時…
！
ビ
チ…
すぐに強い刺激を与えられ…
キュウウウ
じわ…
……！
めっちゃ我慢してたけど
ひくっ
ひくっ
ひくっ
い…や…！
「ここなら大丈夫」って安心した私は


ふ・・あああっ！
我慢をやめた瞬間、一気に噴き出した。
ボタッ
ボタッ
ボタッ
ハァ
やらしい身体♡
・・・すごーい
・・・やばっ・・
はずかしい・・・・・
ハァ
ハァ
あたしも・・興奮してきたあ♡


はあ・・・
はあ・・・
シホさんめっちゃ興奮してる・・・
ぶるん
相変わらず・・・
おっきーー！
おねえさん・・・今日こそ
この前の続き・・・しようね♡
この前の・・・続き・・・
わたしはもう・・・
シホさんのオチンチンが欲しくてたまらなくなった。


は…ああ…
あっ…
クポ…
…ごめんね
パパ…ケン…
ハァ
ハァ
やだ…
おねえさんのお口
気持ちい…
うっ…
あっ……！
今回だけ…
ゆるして…
チュウウ

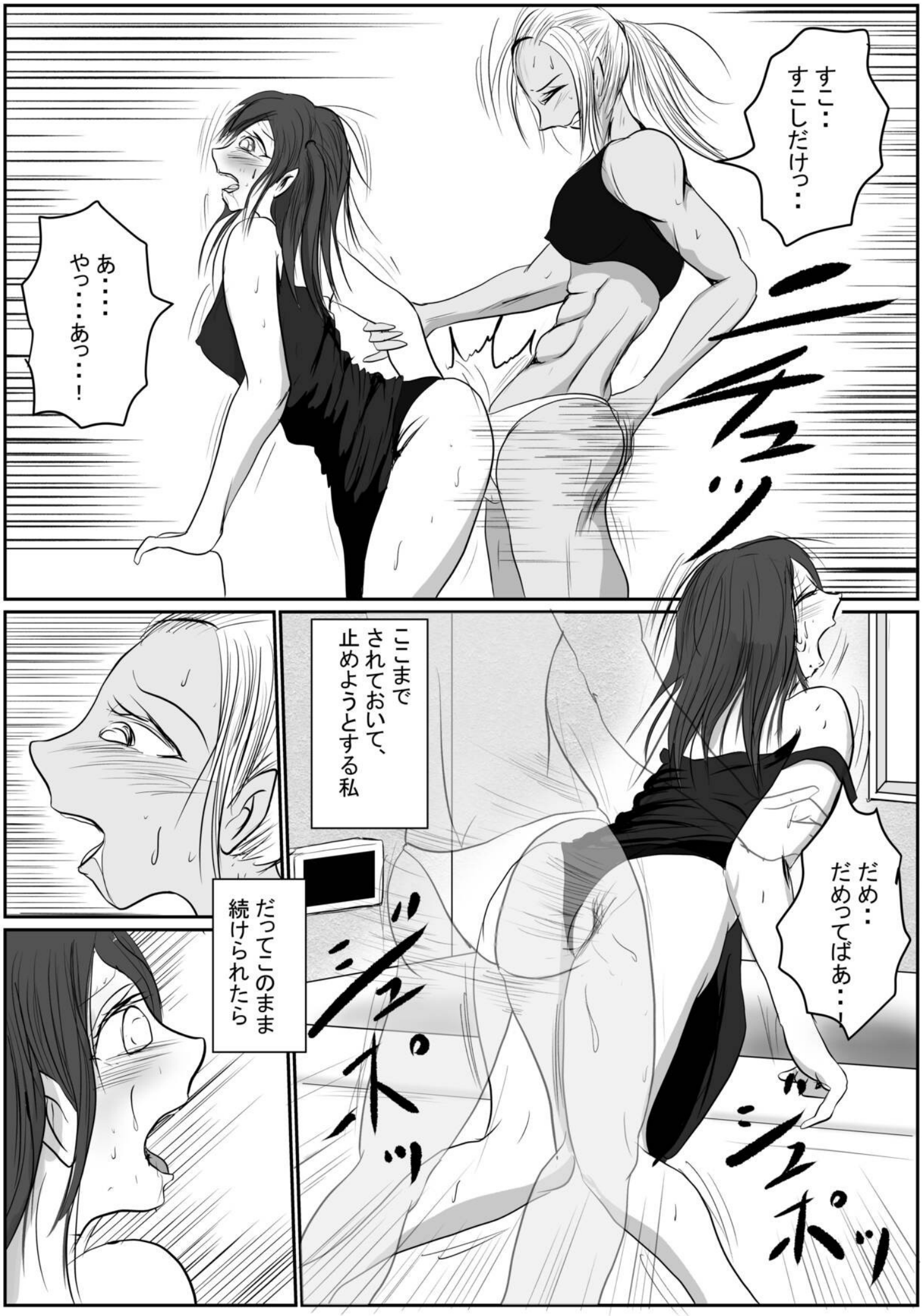

あ……あっ……！
だんだんとシホさんの声が大きくなってきた
ジュポッ
ジュポッ
じゅん
じゅん
私も…さっきとは違うヌルヌルしたものがあふれてきた。
あ…い…や…
だめ…イク……！
ジュルル！
チュポッ
ジュポッ

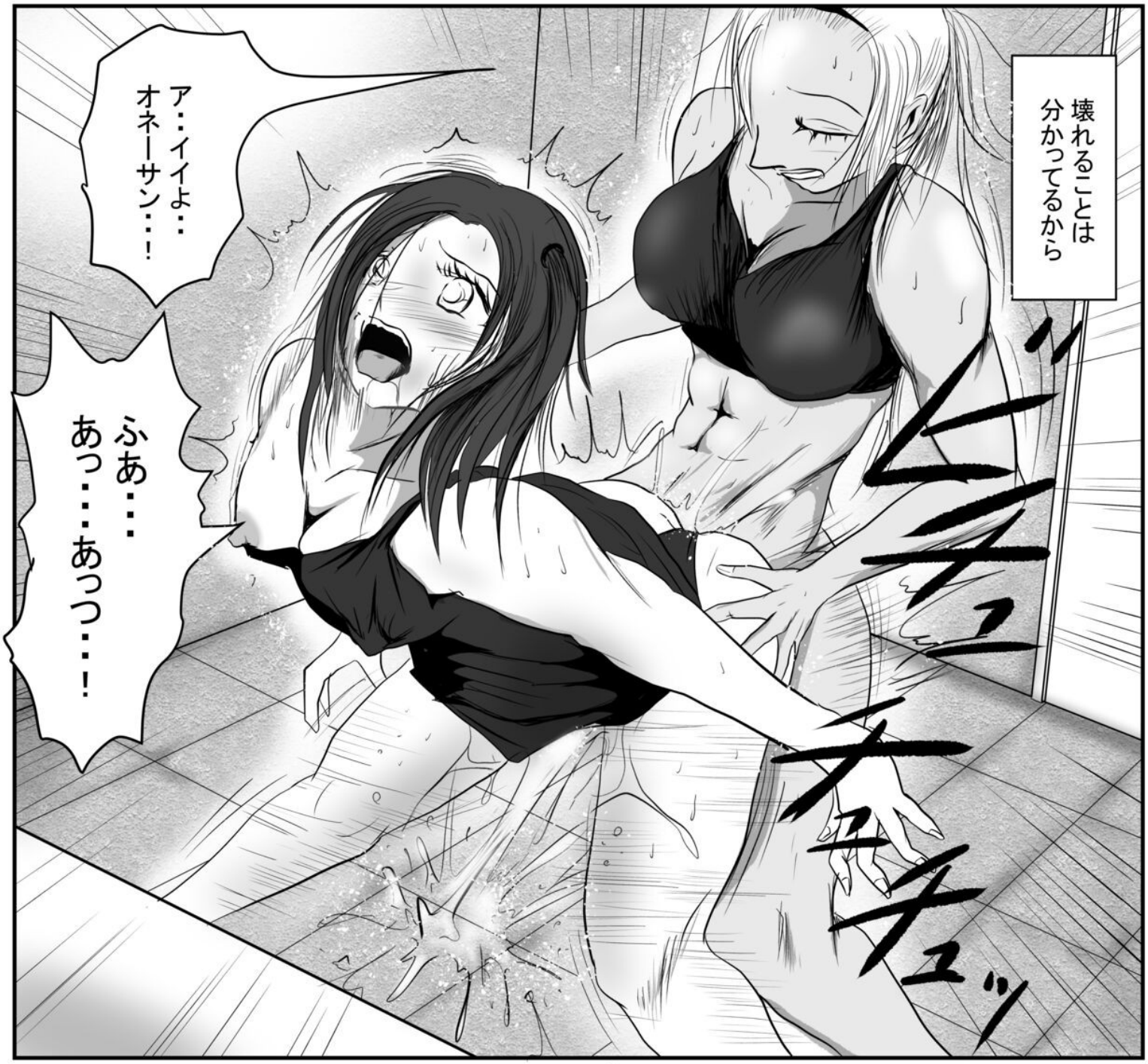

ちょ…
ちょっと待って…
！
い…いれてから
イキたい
……
ちゅぽん
えっ…
あっ…
はやく…
お姉さんと…
ひとつに…
ズチ
ズチ
ズチ


！
うっ…くっ…
ニチュ…
カ…抜いて♡
ビクッ
はあ……ん
あ…あったかい
きも…ち…
ジュジュ……

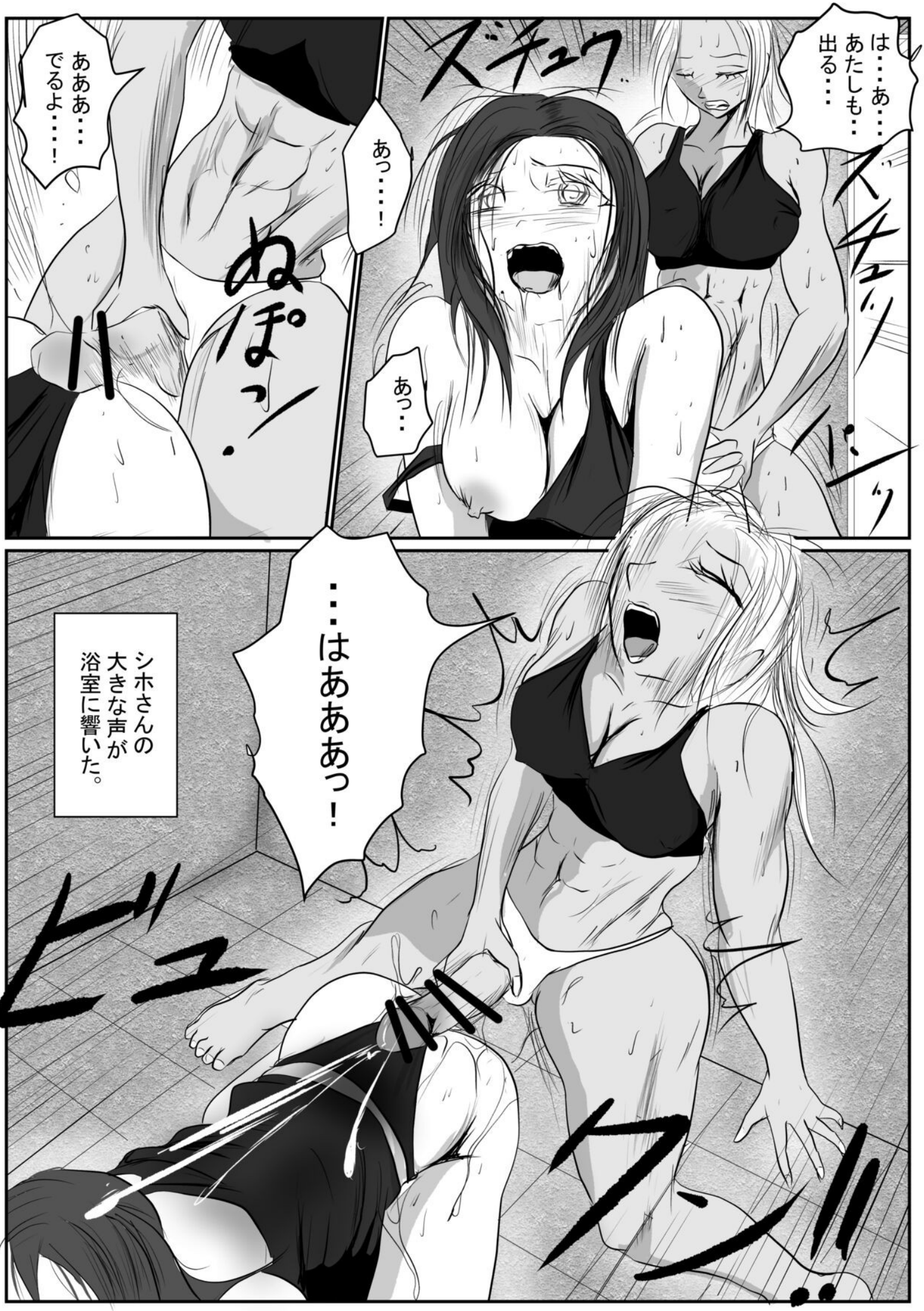

なぜかこの時
日常の風景が
思い浮かんできた
シホさんのおっきな
アソコがゆっくりと
入ってくる……
ふっ……
やっ……あっ…
ニチュ…
ニチュ……
少しづつ…
侵入させてくる。
ハァ
ハァ
申し訳なさが
頭にあったのかも…
ンチュウ……
…でも


この瞬間
全てを忘れた。
!!
グチュウッ
ああっ！
お…奥まで
はいったあ…
キュウウ…
締め付け
…すごいよ
おねえさん…
いい？…
腰…ふって
いい？
だ…めえ…


すこ・・
すこしだけっ・・
あ・・・・
やっ・・・あっ・・・！
チュッ
だめ・・
だめってばあ・・・！
ここまで
されておいて、
止めようとする私
ジュポッ
ジュポッ
だってこのまま
続けられたら

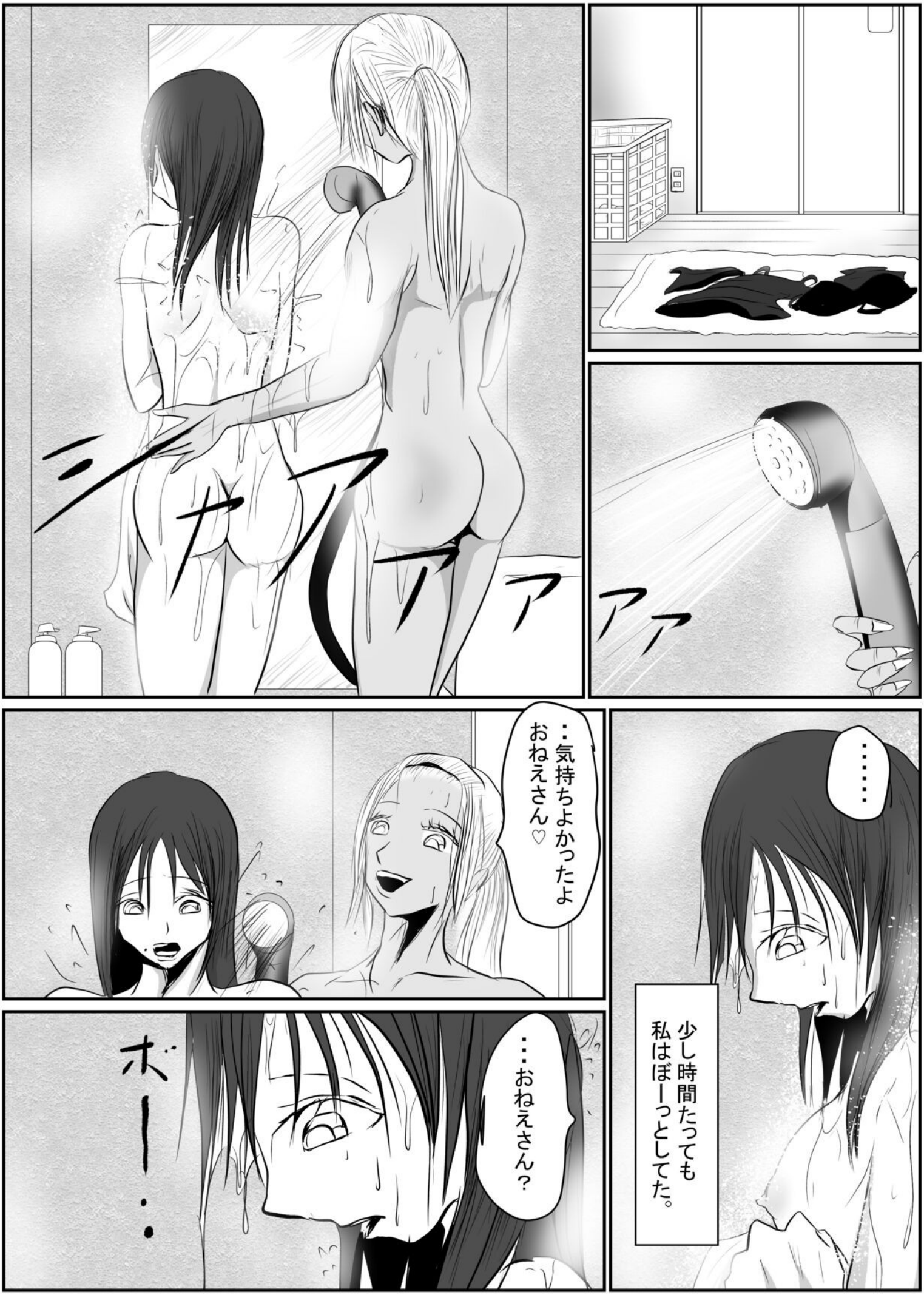

壊れることは
分かってるから
ア・イイよ・・
オネーサン・・・!
ふあ・・・
あっ・・・あっつ・・・!
ムニュ
チュッ


気持ちよすぎて、
意識がとびそうに
なった。
・・・でも
シホさんは腰を
振り続け・・・
ズッ
ズッ


は…あ…
あたしも…
出る…
ズチュウ
スチュッ
パンッ
あっ…!
あっ…
ああああ…
でるよ…!
ぬぽっ
…はあああっ!
シホさんの
大きな声が
浴室に響いた。
ビュー
ウーン…!!


は…あっ！
どくっ
ぴゅっ
びちゃっ
あっ…！
ドチャッ
ガクガク

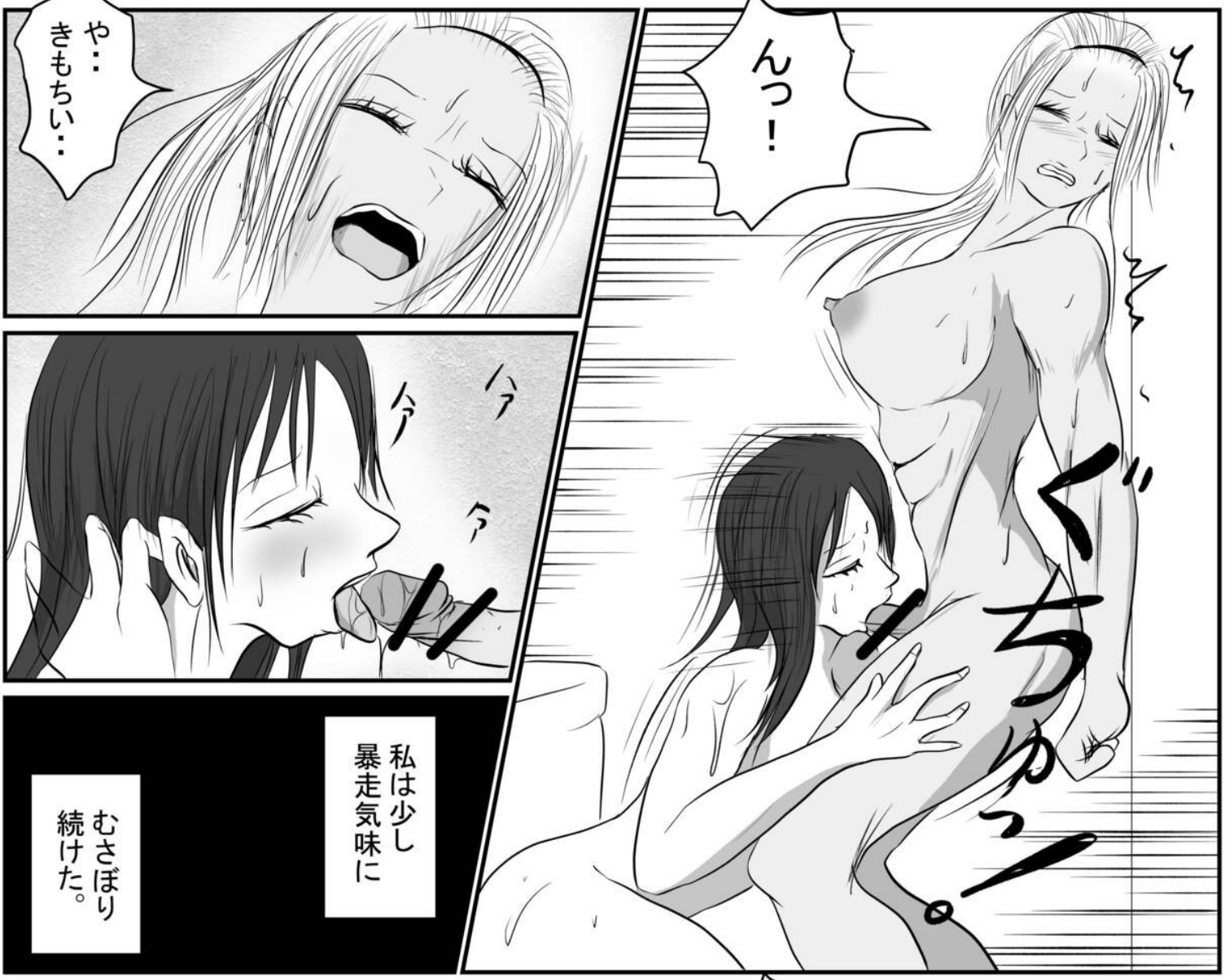

私のからだは
色んな液体にまみれ、
しばらく痙攣が
止まらなかった。
はあ…
びくっ
あっ…
びくっ
はあ…


シャアアアア
アア
……
少し時間たっても
私はぼーっとしてた。
…気持ちよかったよ
おねえさん♡
…おねえさん？
ボー…


ごめん・気を悪くした??
・・えっ!?
あ・・・いやそんなことないよ・・
・・・・!
どうしても頭からはなれない
チラッ
ドキッ
ドキッ
気持ちよすぎたシホさんのオチンチン・・・・
そう・・よかった
ビクッ


ん……
もういちど
……
もういちど
味わいたくて
たまらなかった。
ん……！
お・ねえさん……！
ぎゅむっ
や・私も
胸弱いから……！
だめ……！
ぐぐ……
控え目な私も、
この時は自分を
抑えきれなかった。
あ・ん
ちゅっ
ちゅっ
ちゅぱ


あ…は…
また…するの？…
あ…いや…！
ガタッ
ちろっ
ハァ
ハァ
たべたい…
シホさんの精液
ほしい…
また…こんなに
大きく…


んっ！
や・・きもちい・・
ぐちゅっ！
ハァハァ
私は少し暴走気味に
むさぼり続けた。


シホさんの身体は誰にも渡したくない
あっ・・やめて・・・
ちゅうううう
じゅぽっ
また・・イクから・・・！
ぽっ！
・・・やああっ！
全部私が受け止めたい。


あ・・はうっ・・・！
ビクン
ビクン
はあ
はあ
はあ
はあ
ん・・・
精液をお互いあじわいながら・・・・キスがしばらく止まらなかった。。。
チュッ
チュッ
チュッ
シャアアア


半年後
ひゅう
普段と
変わりない家庭
あ・・そこに
置いといて
ママーごはん
まだ？
あした金曜日だから
また残業？
うん・・ごめんね
・・残業なんて
うそっぱち


ほんとは…
あっ！
だめっ！
毎週金曜日は
Hotel
ぱん！
ぱん！
ああ…い…
いっちゃうっ！
ぱん！
ぱん！
ぱん！
大好きなシホさんとの
熱い夜を過ごしちゃってます。
完